

令和4年度  
教育委員会の事務の点検・評価報告書  
(令和3年度事業分)

令和4年8月

始良市教育委員会

# 目 次

I	教育委員会の点検・評価制度の概要等	1
II	教育委員会事務局の点検・評価	4
	教育委員会事務局	
1	教育総務課	4
2	学校教育課	9
3	社会教育課	20
4	図書館事務局	30
5	保健体育課	34
6	国体推進課	39
III	教育委員の点検・評価・意見・要望等	42
IV	外部評価委員の点検・評価・意見・要望等	58
	<b>【資料】</b>	
	外部評価委員・教育委員 名簿	79
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則	80
	始良市教育委員会外部評価委員会規程	81

# I 教育委員会の点検・評価制度の概要等

## 1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む）を含む）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、前年度に実施した事務事業の内容について、『始良市の教育』（教育行政要覧）の各課重点施策を基本に、評価項目を分類する。

そして、事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する 5 名で組織する外部評価委員会を 2 回開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

報告書については、9 月定例教育委員会での議決を経て市議会へ提出する。

また、報告書は10月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

### **3 自己点検及び評価における観点**

#### **(1) 教育委員会**

教育委員会は、その社会的責任を果たしていくため、『始良市の教育』に掲げた重点施策に基づく教育活動等の状況について、教育水準の向上や活性化の成果と課題を自己点検し、その結果を踏まえ、優れていた点や改善を要する点などを明らかにすべく評価する。

#### **(2) 教育委員**

教育委員は、教育行政の基本方針や重要事項を審議し決定した重点施策に基づいた教育活動等の状況について、教育水準の向上や活性化の成果と課題を自ら評価する。

#### **(3) 外部評価委員**

外部評価委員は、教育委員会の教育活動等の状況及び教育委員会の自己点検と評価の結果に関し、第三者の有識者として、その客観性及び妥当性を担保するとともに、教育活動全般の質の更なる改善・改革に資する考察や実質的な助言を付して総括的に評価する。

### **4 評価点数結果及び各課の評価項目件数**

42 評価項目の合計評価点数は平均 4.3 点、始良市教育振興基本計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 4 項目・学校教育課 12 項目・社会教育課 14 項目・図書館事務局 4 項目・保健体育課 5 項目・国体推進課 3 項目の合計 42 項目である。

## 5 評価点数について

評価点数は5段階評価とし、基準等は下表のとおりとした。

評価	評価の基準等	達成割合の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8割 ~ 10割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6割 ~ 8割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4割 ~ 6割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2割 ~ 4割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0割 ~ 2割

## 6 令和3年度の自己点検評価報告書作成スケジュール

日程	内容
5月10日（火）	各課の自己点検評価の実施・評価シートの作成依頼
6月8日（水）	教育委員による評価の依頼
6月10日（金）	外部評価委員委嘱の承認（定例教育委員会）
7月11日（月）	第1回 外部評価委員会 〔制度・趣旨説明・教育委員会自己評価の説明〕
7月11日（月）	外部評価委員による評価の依頼
8月24日（水）	第2回 外部評価委員会 〔事務の点検・評価報告書のとりまとめ〕
9月12日（月）	点検・評価結果報告書の議案提出（定例教育委員会）
9月下旬	点検・評価結果報告書の提出（市議会）
10月上旬	市民への公表（市ホームページに掲載）

## Ⅱ 教育委員会事務局の点検・評価

### 1 教育総務課の成果と課題

#### 1. 教育委員会の活性化の推進

##### 【成果】

教育委員会の活性化の推進については、① 定例教育委員会は、始良市教育委員会の行政組織等に関する規則」に定める毎月10日前後に開催し、概ね全委員の出席のもと、本市の教育行政における重要事項や基本方針などを審議した。活発な質問や意見等が出され、相互の理解を深める中で議決・承認された事項に基づいた具体的な事務や生涯学習、学校教育、文化振興及びスポーツ振興等の幅広い施策の展開につなげることができた。

また、臨時会（3月）では、教職員の人事異動（内申）を諮り、本市の健やかな学びとより高い教育水準を支える人材の確保と環境を整えることができた。

〔予算議案4件、条例・規則等制定・改廃案件14件、附属機関の委員等の委嘱等人事案件6件、その他6件、計30件の議案及び報告11件〕

② 総合教育会議（2月開催）では、市長と教育委員会が本市の教育の課題やあるべき姿を共有しながら、始良市教育大綱（令和4年度～令和8年度）を策定したことにより、本市の「教育行政の基本方向」を推進するための連携強化を図ることができた。

③ 本市の教育理念をはじめ、10年後を見据えた教育の姿を描き、向こう5年間の重点取組施策を定めた『第2次始良市教育振興基本計画（前期計画）（計画期間：令和4年度～令和8年度）』を策定し、本市の教育振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進の実行性を高め、本市の教育振興の目指すべき姿を市民に対して明確に示すことができた。

④ 教育委員研修を通じて、教育行政の基本方針や重要事項を審議・決定するための識見や知見を更に深め、広げることができた。

##### 〔県主催研修〕

市町村教育委員会委員研修会（県庁：8月）

##### 〔市町村教育委員会連絡協議会研修〕

地区協議会研修視察（牧之原養護学校・縄文の森：11月）

##### 〔市教育委員会主催研修〕

いじめ問題・不登校対策研修会（学校教育課）

定例会後の委員研修会（特別支援教育の現状について）

##### 〔中止した研修／新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため〕

市町村教育委員会連絡協議会研修・県協議会講演会（例年鹿児島市：5月）・地区協議会研修（地域振興局：5月）・始良市主催の研修会（九州管内研

修：11月)

⑤ 教育委員活動は、新型コロナウイルス感染症のまん延により、予定どおり開催できない行事はあったものの、感染対策をしながら、積極的に各種行事に参加することを基本とし、全ての幼稚園、小・中学校の学校訪問を実施し、各園・学校のグランドデザイン（個別の方針や構想）を基にした経営方針の説明を受けるとともに、学力・体力の状況や抱える課題等の実情を把握できたことにより、画一的な教育行政とせず、柔軟で多様性のある教育振興につなげることができた。また、1人1台タブレットを活用した新しい時代に向けた学習・授業の様子や、特別な支援を必要とする児童生徒が増えていく状況を実感することができた。

#### 【課題】

①～③ 社会情勢の変化を踏まえつつ、『教育振興基本計画』を円滑、かつ着実に進めるための進捗管理を検討する必要がある。

④・⑤ ウイズコロナ、アフターコロナにおいても、多彩な研修などを実施できるよう検討する必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.8 点

## 2. 適正な人事管理業務の推進

#### 【成果】

適正な人事管理業務の推進については、① 質の高い教育行政を支える人材育成を目指し、職務上必要となる知識や技術を習得するための各種研修を実施し、教育行政に従事する職員の資質を向上させることができた。

#### (1) 県自治研修センターの役職別研修

新規採用職員研修3名、主査研修2名、新任係長研修2名、  
新任課長補佐研修3名、再任用職員研修1名  
一般職員研修2名（R4へ延期）、新任課長研修1名（中止）

#### (2) 市職員研修

新規採用職員集中研修3名、法制執務研修3名

② 例年実施する職員研修会に加え、学校 ICT 化整備事業に伴う研修会を開催し、学校での業務が円滑に進むよう企画・調整に努めた。

- ・職員研修会（4月：全員）、学校用グループウェア研修会
- ・学校司書補研修会（ナノシステム操作について）
- ・用務員研修会（花の育て方について）（中止）

#### ③ 各種の健康診断等を通じた職員の健康保持に努めた。

- ・職場健康診断受診者：正規職員 32 名、会計年度任用職員 174 名

- ・人間ドック：市町村共済 25 名、学校共済 7 名
- ・生活習慣病予防健診(社保適用者)：14 名
- ・教育長・部長が新型コロナウイルス感染症対策本部会議等に  
毎回出席し、感染状況の把握、職員への情報を伝達

④ 始良市職員安全衛生管理規程に基づき、安全衛生委員会の書面開催(2回)、労働安全衛生法の規定に基づくストレスチェックを実施し、職員の安全の確保及び健康の保持増進を図ることができた。

⑤ 職員の業績評価書の作成及び期首面談(4月)、期末面談(2月)、評価結果の開示及び指導(3月)を実施し、職員一人ひとりが適切な業務目標を設定し遂行したことにより、組織全体の生産性を向上させることができた。また、会計年度任用職員 260 名の継続雇用にあたり、担当課で面談を実施、現状の確認等を行い、次年度の職員の適正な配置につなげた。

#### 【課題】

職員の資質を更に高められるよう、外部研修(マナー研修、修繕、植栽、清掃、救命、防犯、防火等管理業務など)や職員個々の理解度に応じた研修や多様な視点・知識・経験知の結集した創発の場となり得る研修会などを調査・研究する必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.8 点

### 3. 適正な財務事務の推進

#### 【成果】

適正な財務事務の推進については、厳しい財政状況にありながらも、限られた予算でできる限り多くの事業を実施できるよう、財務事務の効率的な運営・適正な予算の編成及び適切な執行をもって、円滑な教育行政を支えることができた。

また、学校事務職員研修会を4回実施し、主に予算執行に関して共通理解を図る機会を持った。また、転入学校事務職員を対象に財務会計処理、備品システムについての実務研修を実施し、始良市の財務事務の理解度を高めることができた。

令和2年度決算監査、3年度定期監査では、指摘事項はなく、適正な予算執行が図られているとした評価を得ることができた。

学校備品監査では、小学校5校、中学校2校が実地調査校であり、特に指摘はなかった。また、学校要望を受け、監査事務局と協議の末、一部の監査資料の様式変更を行い、事務改善を図ることができた。

#### 【課題】

学校の高額備品の購入が容易にはできない財政状況にあることから、年次的に更新あるいは購入できるよう更新等基準を定めた計画を検討する必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.2 点

#### 4. 良好な教育環境整備の推進

##### 【成果】

良好な教育環境整備の推進については、次のとおり、学校施設及び関係施設等の維持管理により、健やかに学習できる施設環境、衛生環境を維持・向上させることができた。また、教職員等の業務効率化を実現できる執務環境を整備することができた。

「教職員住宅」／老朽化した山田小学校校長住宅解体工事を行った。

「改修」／西始良小学校 3 号棟、永原小学校 1 号棟、錦江小学校校舎東側の屋上防水工事、錦江小学校体育館屋根防水工事を行い、雨漏りによる建物の劣化の進行を鈍化させた。帖佐中学校 21 号棟東南側外壁改修工事は、外壁モルタルの浮き部が多数あったため改修工事を行った。また重富小学校 1 号棟 3 階天井改修工事では、劣化により天井のコンクリートが落下したため、落下防止工事を行った。

「新築、建替え」／始良小学校屋外トイレ（汲み取り式）を解体し、水洗化の屋外トイレを新築した。

「解体」／老朽化し使用されていない竜門小学校倉庫、建昌小学校屋外トイレ、帖佐中学校屋外トイレの解体工事を行った。

「屋外」／重富中学校プール改修工事については、プール内面の劣化が激しいため塗替えを行った。また建昌幼稚園園庭整地工事を行い、路盤が見えていた園庭の補修を行った。

「学校 ICT 整備」／学校 ICT 化整備事業により、全教職員の校務用パソコンの更新、【新規】校務支援システム、【新規】学校用グループウェアなどの整備を行った。

##### 【課題】

「教職員住宅」／今後は西浦小学校に隣接している校長住宅及び教頭住宅 2 棟の解体を進める必要がある。また、既存の住宅の屋根瓦の老朽化が目立ってきているため、塗替え等対処する必要がある。

「改修」／改修工事が必要な建物が多いため、優先順位をつけて計画的に工事を行っていききたい。また長寿命化改修等、校舎全体の工事を進める必要が

ある。

「新築、建替え」／帖佐中学校屋外トイレを令和3年度に解体したが、早い段階で建替えできるよう計画する必要がある。また今後は老朽化が進んでいるプールのトイレの水洗化に取り組む必要がある。

「解体」／ほとんどの小中学校に焼却炉が残っており今後計画的に解体する必要がある。

「屋外」／小中学校のプールは老朽化が進んでいるため、計画的に改修していきたい。また摩耗が進んでいる園庭、校庭の改修は、予算の範囲内で計画的に行う必要がある。

「学校ICT整備」／デジタル社会を支える初等中等教育環境に向けたICT環境を段階的に実現できるよう検討を続けていく必要がある。

### **外部評価委員の評価点 平均4.8点**

## 2 学校教育課の成果と課題

### 1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

『道徳教育の充実』

【成果】

道徳教育の充実については、①「学級経営研修会」及び「道徳教育推進教師研修会」を開催したことで、学校における道徳教育の基盤作りに努めることができた。また、道徳科指導法開発委員会でタブレットを使った道徳科授業実践事例集を作成し、HP 上に掲載したことにより、学校におけるタブレットを活用した道徳科の授業実践を促すことができた。

②モラリティ・インクルーブメント実践推進校の三船小が実践発表を行ったことにより、学校・家庭・地域の三者協働による道徳教育推進のモデルを市内の学校・家庭・地域へ示すことができた。

③学校・家庭・地域が、協働して子どもの道徳性を育むためにどのような取組が必要かを考えるモラリティ・インクルーブメント・ミーティングにより、子どもの道徳性を育むための具体的取組について推進することができた。その一例として、「みんなのカレンダー」を作成して、各家庭に配布し、「あいさつ、ルール・マナー、感謝の心、ふるさと」について子どもたちに啓発することができた。

④子どもの豊かな情操を育むための小・中・高生による弁論大会「ことばのいずみコンクール」及び海外の砂漠マラソンへの出場経験のある講師による前向きに生きることをテーマとした講演会を行ったところ、360人の来場があり、学校・家庭・地域の三者協働による道徳教育について啓発することができた。

【課題】

①タブレットを使った道徳科授業実践事例集について、継続して作成に取り組み、質、量を高め、より多くの活用を促す必要がある。

②道徳教育実践発表会への参加者を増やせるような取組が必要である。

③モラリティ・インクルーブメント・ミーティングでの提言を保護者や地域に周知し、道徳性の向上の啓発するような取組を更に工夫する必要がある。

④弁論大会への応募者と弁論大会、講演会の参加者を引き続き増やしていくことが必要である。

**外部評価委員の評価点 平均 4.8 点**

## 『生徒指導の充実』

### 【成果】

生徒指導の充実については、①市独自にスクールカウンセラーを3人配置したことで、児童生徒や、その保護者、教諭等の相談体制の充実につながった。

②1人のスクールソーシャルワーカーが、児童生徒が抱える課題や家庭状況の環境改善に向け、学校、関係福祉部局、警察等との連絡・調整を行ったことで、児童生徒の学校・家庭生活の改善につながる事例が見られた。

③適応指導教室への通室児童生徒数は始良教室で43人（1日平均13～20人程度）、加治木教室で4人となっている。指導員による継続した指導を講じることで、通室していた中3生徒の全員が高等学校入学を果たした。

④事件や事故など、児童生徒やその保護者に対して緊急を要する場合の心理的カウンセリングを行ったことで、児童生徒一人一人に対応した支援につながった。

### 【課題】

①小学校におけるカウンセリングのニーズが高まっており、今後スクールカウンセラーの配置回数、配置場所については検討が必要である。

②児童生徒が抱える課題や家庭状況の環境改善により細やかな対応を図るために、スクールソーシャルワーカーの人員の配置について検討が必要である。

③児童生徒の再登校を増やすために、学校との連携を更に深めていく必要がある。

④スクランブルカウンセリングを行った後の児童生徒の継続的な支援のあり方について考えていく必要がある。

## 外部評価委員の評価点 平均4.6点

## 『人権教育及び体験活動や読書活動の充実』

### 【成果】

人権教育及び体験活動や読書活動の充実については、①各学校の人権教育の全体計画及び年間指導計画について把握し、指導を行ったことにより、学校における人権教育の充実を図ることができた。

②管理職研修会で各学校での人権教育の重要性を説明し校内研修の充実についての指導を行った。また、県及び地区で開催される人権教育に係る研修について各学校に周知し、教職員の参加を計画的に進めることができた。さらに、【新規】県の人権教育総合推進地域事業の指定を受けた山田中プロ

ックでは、人権問題啓発の講演会や人権教育総合推進会議を実施し、児童生徒や教職員、保護者、地域の人権教育の推進を図ることができた。

③各学校において感染症予防対策を十分に講じたり、活動内容や場所、時間等を工夫したりすることで、コロナ禍でも充実した宿泊学習を実施することができた。

④市図画作品審査会についてはコロナ禍の影響で開催しなかったが、各校が1点ずつ優れた作品を推薦した。理科作品審査会についても各学校から優れた作品が多く出され、14点の作品を鹿児島県理科作品展に上げることができた。

⑤小・中合同音楽会について、市音楽部会と連携を図り、加音ホールと蒲生公民館ホールに会場を分散させて行ったことで、新型コロナウイルス感染を予防しながら児童生徒が練習した演奏や合唱などを発表する機会を確保でき、市内小中学生の音楽を通じた交流を図ることができた。

#### 【課題】

①各学校の実態に応じた人権教育の全体計画及び年間指導計画の改善が図られているかを今後も見届けていくことが必要である。

②より多くの職員が人権教育に関する各種校外研修会に参加できるように、今後も実施計画を早めに周知するとともに、職員の計画的な参加を促す必要がある。

③コロナ禍により、大切な体験の機会を奪われないよう、感染防止の工夫をしながら継続して学校を支援していく必要がある。

④県の作品展に出品されていない図画作品や理科の採集作品については、市独自の審査会を行うなどして児童生徒の努力を称賛する場を作る必要がある。

⑤今後の新型コロナウイルス感染状況を勘案しながら、2分割会場の是非については検討していきたい。

### 外部評価委員の評価点 平均4.4点

#### 『幼児教育の充実』

##### 【成果】

幼児教育の充実については①園長研修会で共通理解事項等について協議する場を設定することで、会場輪番制や幼稚園長会長の役割、園児募集の流れ、園児確保・維持に向けた考え方などを確認・共有することができた。

②小学校のスタートカリキュラム及び公立幼稚園におけるアプローチカリキュラムを資料として提示することで、幼・保・小接続の視点でカリキュ

ラムの改善点について意見交換したり、始良市として統一した引継資料の形式を作成したりすることができた。

③園児の主体的な活動に焦点を当てて協議することで、意義のある保育参観・保育研究を実施することができた。また、【新規】始良・伊佐地区の公立幼稚園教諭間で園の教育活動等について情報交換を行うことができた。

④各小学校区ごとの幼・小交流学习の計画を確認することで、感染予防対策を講じながら効果的な交流学习が実施できるよう指導することができた。

#### 【課題】

①より魅力的な幼稚園経営を行うために、継続して幼稚園長研修会の充実を図っていく必要がある。

②各小学校区ごとの研修内容について共有する場を設定し、市全体の幼・保・小連携を深めていく必要がある。

③分科会でのグループ討議をより活発化させるための工夫が必要である。

④コロナ禍においても、感染予防を工夫しながら幼・小交流学习を実施することが必要である。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.0 点

## 2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

『確かな学力の定着』

#### 【成果】

「確かな学力」の定着については、①-1各中学校ブロックごとに、小中連携して学びを支える基本的な学習・生活習慣の定着に取り組んだことで、学力が向上した。

①-1各学校が、【新規】生活・学習等における基本的なきまりをA3用紙1枚にまとめた「小中共通学校生活のきまり」を作成したことで、教師・児童生徒・保護者が、一目でルールの共通理解ができるようになった。

①-2新学習指導要領の求める授業づくりについて実践的に学べる研修を行ったことで、参加者は、今後の授業づくりに生かそうという意欲を高めていた。

②教育フォーラムでは講師を招聘し、市内全教職員対象のGIGAスクール構想に関する教育講演会を実施することで、ICTを活用した授業づくりへの理解が深まった。

③教務主任等研修会を実施し、教務としての教育課程の編成と学力向上の取組への関わり方についての研修を行うことで、学力向上委員会等の位

置付け等を確認でき、校内研修等の充実につながった。

④市内4校（地区指定校2校含む）が、研究指定を受けて研究に取り組むことで、研究内容が充実し、授業力の向上が見られた。

⑤⑦全国学力・学習状況調査、標準学力検査では、これまでの成果を可視化するとともに、演習問題等を活用した授業改善を推進したことで、小学校・中学校共に、市平均は、全国・県平均を大きく上回った。

⑥鹿児島学習定着度調査では、これまでの成果を可視化するとともに、演習問題等を活用した授業改善を推進したことで、小学校の市平均は、全教科において県平均を大きく上回り、中学校2年生は、県平均並もしくは県平均を上回った。

#### 【課題】

①-1各中学校ブロックごとに小中連携の研修会を開いてきたが、授業改善についての連携が十分に図られていないため、スムーズな接続ができず、中1の定着度調査結果に課題が現れた。

①-2指導力向上セミナーの実施の時期を変更して参加者を増やす工夫を行ったが、中学校の参加者が若干少なかった。

②ICT機器を活用した授業づくりについては、各学校の格差が出ないように研修の質を上げていきたい。

③教務主任等研修会では、引き続き教務主任の組織における役割についての研修を深めていく必要がある。

④研究指定校へ重点的に指導主事を派遣し指導を行ってきたが、研究を深めるために継続して取り組む必要がある。

⑤⑥⑦他学年と同様に演習問題等を活用しながら授業改善を推進してきたが、鹿児島学習定着度調査において、中学校1年生は、県平均を上回ったのは、英語のみであった。

### 外部評価委員の評価点 平均4.2点

#### 『理数・外国語教育の充実』

##### 【成果】

理数・外国語教育の充実については、①理数・外国語教育推進事業として、理数分野、外国語分野それぞれ計画に沿った取組が展開され、各種学力調査等で成果が現れた。

②小学校2校に理数定着支援員を配置したことで、学校や学級、児童の実態に応じた理数教科の指導を重点的に行うことができた。

③算数・数学指導法研修会を実施し、思考力・判断力・表現力を育成する

ための授業について研修を深めることができた。

④サイエンスリーダー養成講座において、年4回の講座を計画通り実施したことで、受講生が主体的・協働的に活動する姿が見られ、受講の終了後には、自分に自信が付いたことや他校の生徒と協働した達成感等の感想が見られた。

⑤外国語科S E T加配教諭を配置した柁城小と竜門小以外の市内の全ての小学校に英語活動協力員（A E A）を派遣したことで、小学校外国語及び外国語活動の指導の充実につながった。

⑥小学校外国語活動及び中学校英語科の授業を参観し、協議の機会を設定したことで、他校での取組についての理解が深まった。

⑦⑧外国語教育推進事業の実践校（加治木中・錦江小）における研究授業と研究協議を通じて、小中学校の授業力の向上につながった。また、外国語教育アドバイザーである影浦攻氏（鹿児島純心女子大学前副学長）と長崎県立大学教授の山崎祐一氏の講話を行ったことにより、小学校外国語科の指導力向上につながった。

#### 【課題】

①理数・外国語教育推進事業により、引き続き理数・外国語の学力の定着を図っていききたい。

②理数定着支援員を2人配置しているが、授業場面における支援員の効果的な活用の在り方について更に充実させていく必要がある。

③算数・数学科指導法研修会について、各学校において思考力・判断力・表現力の育成を目指した授業改善が推進されるように、研修内容の更なる工夫が必要である。

④理科実験法研修会では、研修が実践につながるよう、実験器具等を使って実験の仕方や方法等について検討する内容で研修を行ったが、参加人数が目標に達成しなかった。内容について更に工夫・検討する必要がある。

⑤A E Aと小学校担任による効果的なT Tの指導方法について更に研修を深める必要がある。

⑥⑦⑧教職員のニーズに応えられるように講演の内容を吟味し、講師の選定を行うとともに、提供する授業の質を更に向上させたい。

### 外部評価委員の評価点 平均4.8点

『特別支援教育や情報教育の充実の推進』

#### 【成果】

特別支援教育や情報教育の充実の推進については、①始良市特別支援教

育担当者研修会において、学校から要望が多かった個別の指導計画作成に関する研修を実施したことで、各学校の個別の指導計画作成が進み、児童生徒の目標設定や支援について明確になり、指導・支援の充実につながるという効果が現れた。

②③市内小中学校に56人の特別支援教育支援員を配置したことで、通常学級における特別な支援を必要とする児童生徒の支援を細やかに行うことができた。支援員を対象とした研修会では、支援員から要望が多かった「行動に困難がある子供に対する具体的な支援方法」について担当指導主事が指導講話を行ったことで、2学期以降の支援の質の向上につながった。

④障害のある幼児、児童、生徒の適正な就学を図るために、教育支援委員会を年に4回実施した。医療や福祉、教育、保健等の専門的な立場から意見交換を行うことで、幼児児童生徒の適切な就学先について根拠をもって判断することができた。

⑤始良市の特別支援に関する状況を特別支援連携協議会各委員から情報提供してもらうことで確認することができた。第2回は、新型コロナウイルス感染症対策のために紙面報告であったが、不登校対策や保健所等訪問支援について資料提供等を行い、各関係機関の連携を再確認することができた。

⑥7月と10月に就学相談会を実施した。就学相談会への参加に必要な提出書類の記載内容の見直しを行ったことで、就学相談専門員の事前資料や審議に必要な資料をより分かりやすく示すことができるといった効果があった。

⑦特別支援教育の視点で視覚支援を各学校に指導してきたことで、ICT機器を活用した情報提示が日常的に行われるといった効果が現れた。

#### 【課題】

①③特別支援教育の視点での指導力の向上のための研修に取り組んできたが、特別支援教育の対象の児童生徒が増加しているため、今後もニーズに応じた研修内容の検討が必要である。

②通常学級で支援が必要な児童生徒のために支援員の配置を行っているが、状況の変化によって対応が必要なケースが考えられることから支援員の配置校や人数、人員等については今後も検討の必要がある。

④就学に関する理解啓発に取り組んできたが、就学前の早期段階から保護者や地域への働き掛けを行うことについては今後も検討の必要がある。

⑤特別支援連携協議会を通して各関係機関の連携が図られているが、幼児児童生徒を取り巻く環境の変化から、更なる連携強化について検討が必要である。

⑥就学相談会終了後に対象者が挙がり、年度末まで検討が必要な状況が

あった。早い段階から就学に対する理解啓発を図っていく必要がある。

⑦各学校一人一台端末の整備がなされ、通常の学級においては徐々に活用が進んでいるが、特別支援教育の視点で個別最適化された活用はあまり進んでいないのが現状である。今後は、端末を活用した授業実践を積み重ね、活用を推進していく必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.4 点

#### 『進路指導・キャリア教育の充実』

##### 【成果】

進路指導・キャリア教育の充実については①コロナ禍にもかかわらず、小中学生のキャリア教育に賛同し協力いただける事業所が増えたことにより、職場体験学習や職場見学のための「あいらキャリアサポートバンク(175事業所、前年比+30)」を更新することができた。

②市内の事業所からキャリア教育推進委員を選定し、事業者や子育て支援の立場から考える児童生徒の職業観・勤労観について協議を深めたことで、「自立」に向けて育成したい資質や能力を学校や地域でどのように伸ばすかについて貴重な意見をいただくことができた。

③新型コロナウイルス感染症拡大のため、中学校での職場体験学習は実施できない学校があった。代替として地域の方や事業所の方を講師に招いた職業講話などが実施されたことで、生徒の職業観や将来の生き方について考える機会を得ることができた。

##### 【課題】

①②始良市が掲げる「自立」に向けて、将来の社会的な自立につながるようにキャリア教育推進協議会の内容の充実を図り、各学校に還元していきたい。

③コロナ感染症の関係で中学校における職場体験学習の受け入れが難しい状況が続いている。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.2 点

### 3. 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり

#### 『体験活動や郷土教育の充実』

##### 【成果】

体験活動や郷土教育の充実については、①総合的な学習の時間の充実のために、地域の特色を生かした体験活動を取り入れることで、児童生徒は、ふるさとのよさを再認識することができた。

②学校の実態に応じて郷土にある身近な素材を調べる活動を行うことで、児童生徒は新たな発見をして自分自身の考えを発信する等、発展的な学習を進めることができた。

##### 【課題】

①継続して体験活動を支援していく必要がある。

②社会教育課（文化財係）等とより連携を図り、郷土教材や人材等を活用していく必要がある。

#### 外部評価委員の評価点 平均 4.0 点

#### 『魅力ある学校づくりの推進』

##### 【成果】

魅力ある学校づくりの推進については、①学校経営総合計画（グランドデザイン）に基づく計画的・総合的な経営推進について、学校訪問や管理職研修会、自己申告の場で指導及び評価を行うことで、各学校において経営改善が促進され、経営の充実が図られた。

②学校評議員会及び学校関係者評価委員会における委員の学校に対する評価や意見等を踏まえて、教育活動の改善につなげることができた。

##### 【課題】

①校長の自己申告等の機会に経営状況に係る資料準備や聞き取りを行っているが、今後も面談の内容等を充実するために数値等による取組状況の把握に努める必要がある。

②コロナ感染拡大防止対策として、書面での学校評議員会及び学校関係者評価委員会開催となった学校があった。学校の取組や学校評議員の学校に対する評価や意見等を共有する大切な機会であるので開催方法については今後も十分検討する必要がある。

#### 外部評価委員の評価点 平均 4.6 点

## 『学校運営の充実及び教職員の資質向上』

### 【成果】

学校運営の充実及び教職員の資質向上については、①年間計画に基づいて、校長・教頭研修会を実施し、市教育行政の説明、当面する課題に応じた講話、協議、演習などを行ったことで、管理職としての職責感や学校経営への意欲を高めることができた。

②教育事務所との合同訪問を含め、全幼稚園、小・中学校の学校訪問を計画的に実施し、学校施設や児童生徒の様子、職員の動きを授業参観や表簿等閲覧を通して点検を行ったことで、学校経営の課題を伝え、経営状況の改善を促すことができた。

③「指導力向上セミナー」を計2回実施し、市内小・中学校教員を対象に実践的な研修を深めたことで、新学習指導要領の求める授業の在り方について学び、授業改善につながった。

### 【課題】

①今後も、教育委員会各課と連携し、管理職研修会の指導内容や指導方法等について検討していく必要がある。

②学校訪問において指導主事等が参観した全ての授業者について、訪問後に管理職用評価シートを提供している。授業改善を促すためにシートの効果的な活用を進めていく必要がある。

③指導力向上セミナーや教育実践研修会等への中学校教員の参加が若干少ない傾向にあるため、中学校教員の参加人数を更に増やしていきたい。

## 外部評価委員の評価点 平均 4.4 点

## 『小規模校・複式教育の充実』

### 【成果】

小規模校・複式教育の充実については①小規模校・複式学習指導法研修会では、研究指定校の研究公開と兼ねた研修会を実施することで、研究授業を通じた授業研究、テーマに沿った協議など、実践的で充実した研修が行われた。

②特認校受入までの流れを可視化し、特認校と教育委員会で共通理解を図ることができた。また、特認校を希望する園児や児童の情報を収集し学校に伝えるなど情報提供を行うことができた。

③小規模校のよさを生かし、特色ある教育活動を推進しながら、集合学習などを教育課程に位置付けることで、より充実した取組を推進することが

できた。

**【課題】**

①③複式校が一堂に会しての研修や集合・交流学习を行い成果を上げているが、日常的な連携や情報交換を通じた研究テーマについての連続的・発展的な研究となるよう充実を図る必要がある。

②学校によって特認校制度を使って通学する児童の人数に偏りが見られる。

**外部評価委員の評価点 平均 4.2 点**

### 3 社会教育課の成果と課題

#### 〔社会教育係〕

##### 1. 社会教育の基盤づくり

『関係機関との協力体制の強化及び職員の資質向上』

##### 【成果】

①社会教育委員の会の開催については、委員数 15 人、年 2 回開催、研究テーマ「みんなで支える家庭教育支援の在り方～協働による新しいアプローチ（不登校対策）～」を設定し、委員から本市での家庭教育支援に対して多角的な視点から意見をいただき、本市の家庭教育支援に関する各事業にこれらの内容を反映させた。委員の取組を地区研修会にて発表した。

②『研修会の開催及び研修会等への参加促進』については、県・地区で開催された研修会やオンラインによる全国大会等、関係職員が参加するよう促した。また、施設職員の資質向上を図るため、先進施設視察を実施した。

##### 【課題】

- ①より多角的な意見を聴取するため新たな委員を選出
- ②多様な開催方法（オンライン等）への対応

#### 外部評価委員の評価点 平均 4.2 点

『社会教育リーダーの育成及び社会教育関係団体との連携強化』

##### 【成果】

①各種団体指導者研修会の開催については、県におけるリーダー研修会（ジュニアリーダー、PTA、女性教育、高齢者教育）に 6 人が参加した。また、地区子ども会指導者研修会を主宰し、18 人参加した。

②関係団体との連携及び支援については、市子ども会育成連絡協議会、市 P T A 連絡協議会、市校外生活指導連絡会、市女性団体連絡会、市生活学校連絡会、市文化協会等、社会教育関係団体に対して、補助金交付や、コロナ禍における活動について指導助言を行うなど、育成支援を行った。

③広報活動の充実と有効活用については、市報やホームページに加え、地域防災メールを活用し、時期を逸することなく随時広報を行うことができた。ポスター、チラシのデザインを工夫した。

##### 【課題】

- ①次世代のリーダー育成に向けた人材発掘

- ②組織加入者が減少している団体への支援の在り方
- ③SNSの効果的な活用

## 外部評価委員の評価点 平均4.0点

### 2. 青少年教育の充実

『生きる力を備えた青少年の健全育成』

#### 【成果】

青少年事業の実施では、①-7 あいら未来特使団事業については、『古から未来へ飛び出せ！世界遺産屋久島と、宇宙に一番近い島・種子島～』をテーマに屋久島縄文杉登山を中心とした体験プログラムにより実施した。小学生9名、中学生8名、高校生3名の20名が参加し、縄文杉登山も全員踏破した。

①-イ AIRA ふるさと学寮については、開催時期を変更して実施した。小学5年生～中学3年生の21名が参加し、学校や学年の異なる友達と集団宿泊生活をしながら通学する体験を通して、自主性・協調性・社会性を培った。

①-ウ AIRA ふるさとチャレンジャーについては、「あいらいく！始良・仲間・自分を好きになろう！」をテーマに全6回の体験活動を設定し、4回実施した。23人が参加。活動全体を通して自己肯定感の向上を図った。

①-エ ムーミン講座については、定員350人に対して603人の申込があり、延403人の児童が参加した。学校では学び得ない体験活動の場となった。(参加率79.2%)

①-オ 成人式については、新成人1,039人中629人参加した。新型コロナウイルス感染症対策として、二部制にして実施した。

② S S V C + 事業については、全小・中学校で年間計画を作成し、コーディネーターを主体に、多様な活動を実施した。全中学校区ごとに統括コーディネーター、家庭教育サポーター、全小学校区にコーディネーター、計22人配置した。

③青少年団体との連携強化については、ジュニアリーダークラブを積極的に市事業等で活用した。(青少年育成事業3回、家庭教育支援事業1回、市子ども会2回)

青少年育成市民会議において、青少年育成部会では情報交換の機会を提供し、年3回の「郷土（ふるさと）に学び・育む青少年運動」時には活動内容を報告してもらった。家庭部会ではあいさつ運動標語を募集し6,773点の中からのぼり旗を作成し、あいさつ運動の啓発に努めた。環境部会ではオンラインゲーム等の利用に関する啓発チラシ作成及び配布を行った。

**【課題】**

- ①②コロナ禍で縮小した活動を以前の水準に戻す働きかけ
- ③児童生徒及び保護者の地域活動への参加促進

**外部評価委員の評価点 平均 4.8 点**

**3. 家庭教育・成人教育の充実**

『家庭教育の充実』

**【成果】**

①国・県指定「みんなで支える家庭教育推進事業の実施」については、モデル事業として、推進委員会（年2回）・庁内連絡部会（年3回）の開催、ラジオ番組制作（年10回）、子育てサロン（9回 95人参加）、家庭教育フェスティバル（242人参加）などを実施した。

②家庭教育学校の支援と家庭教育サポーターの活用については、市立4幼稚園・17小学校・5中学校に委託し、開設した。（学級生2,177人）。学級長研修会では新たに事例発表を実施した。コロナ禍での学習例を提案し、各学級においては、家庭教育ラジオの活用など工夫した学習を実施した。家庭教育サポーターによる子育てサロンを8学級実施し、保護者の悩みの解消に努めた。また、県のモデル事業として、県主催の研修会事例発表や市外でのサロンを実施し、県内に波及させる活動を実施した。

③子育て手帳の広報及び活用推進については、保育園、幼稚園、小・中学校への配布に加え、市内公共施設への設置を行った。また、子育て手帳PR活動として、各種団体の総会や家庭教育学級での説明、ラジオ番組への出演などを行った。

**【課題】**

- ①早い段階での子育てや家庭教育に関する学習機会の提供
- ②家庭教育学級及び子育てサロンの実施拡大
- ③活用方法の更なる周知

**外部評価委員の評価点 平均 4.8 点**

『女性教育・高齢者教育の充実』・『人権教育の推進』

**【成果】**

- ①女性学級・高齢者学級の開設については、あやめ学級（女性学級）は、

3学級に88人、ゆずり葉学級(高齢者学級)は6学級に100人が受講した。生きがいつくりや仲間づくりの場としての役割を果たした。

②社会教育学級における学習機会の拡充及び広報・啓発活動の充実については、家庭教育学級・女性学級等で29回の人権に関する学習を実施し、761人が参加した。

**【課題】**

- ①新規入級者を増やす手立て、成人学級として再編の検討
- ②学習形態の工夫(参加型学習等)

**外部評価委員の評価点 平均4.0点**

**4. 社会教育施設の充実と利用促進**

『社会教育施設の充実と利用促進』

**【成果】**

①北山野外研修センターについては、年間利用者数1,519人(日帰り1,212人、泊307人)、学校行事・PTA・スポーツ少年団・子ども会・家族等の利用があった。

②スターランドAIRAについては、年間入館者数3,732人、観望会を23回実施し313人の参加があった。工作教室(サンデークラフト)を18回実施し、637人の参加があった。また、写真講座を実施し、11人の参加があった。活性化計画の一環として写真展(応募点数16点)、北山科学体験合宿(参加者11人)を実施した。

③椋鳩十文学記念館については、年間入館者数2,186人(本館1,316人、自由の館870人)。職員の先進地視察研修を実施した。活性化計画の一環として、企画展(海と椋鳩十、切り絵と椋鳩十384人観覧)、読み聞かせ会(2回)を実施した。

④蒲生ふるさと交流館については、年間利用者数5,486人。実施予定であった講座は新型コロナウイルス感染症の影響で一部実施できなかったが、感染対策を行った上で工夫された自主事業を展開した。

⑤龍門陶芸・健康の里については、年間利用者数24,275人。陶芸体験館や屋内競技場、多目的広場を有している施設であり、広報活動や自主事業(陶芸体験教室)を行い、施設の利用促進を図った。

**【課題】**

- ①～⑤ 効果的な広報手段と施設の老朽化への対応

**外部評価委員の評価点 平均4.2点**

## 〔生涯学習係〕

### 1. 生涯学習の推進

『生涯学習推進体制の整備』

#### 【成果】

①生涯学習推進会議については、企画委員会及び推進会議を年間各 2 回開催した。

②市生涯学習フェア（2/27）については、始良公民館にて開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置適用期間により中止した。なお、生涯学習功労賞「始良歴史ボランティア協会」表彰を3/11に実施した。

③生涯学習情報の提供については、講師・研修先一覧表を令和4年3月に改定し、市内講師157名、市外講師89名の登録があった。

#### 【課題】

①特段の課題はなし。

②生涯学習フェアの内容充実。

③市民の多様なニーズに応じた指導者の発掘・情報提供。

**外部評価委員の評価点 平均 4.0 点**

### 2. 芸術文化活動の振興

『芸術文化鑑賞機会の提供による文化意識の高揚』

#### 【成果】

①青少年劇場及び芸術鑑賞事業については、10/15 重富小（670 人）「児童演劇：ゲゲゲの鬼太郎」、11/9 竜門・永原小（109 人）「角～いじめっこ姫の物語～」、11/18 帖佐小（255 人）「音楽：弦楽四重奏団 Bienen Quartet」を実施した。

『小学校訪問演奏会』については、10/7 錦江小（265 人）、10/19 柁城小（150 人）「みやまおとどけコンサート」、10/26 建昌小（450 人）「サウンドビューアー・アイラ」を実施した。

②市立少年少女合唱団については、団員数小中高生 15 人で、毎週土曜日に練習しており、県少年少女合唱祭（7/25）、市文化芸術祭（12/5）・椋鳩十文学記念館賞贈呈式（1/15）に出演した。定期演奏会はコロナの影響により中止となったが、年度末 3/12 に発表会を実施した。

③第 20 回始良 10 号美術展については、1/14～1/30 加音ホールにおいて、283 人/351 点出品、大賞・第 20 回記念賞・優秀賞・生涯学習賞・特別賞・

特選・高校特選として計 43 点が選ばれた。

2/3 から 2/8 には山形屋 1 号館 7 階(鹿児島市)の「ななテラスギャラリー」にて第 20 回記念特別展を実施し、歴代の大賞作品 20 点を展示した。

④市文化芸術祭については、みやまおとどけコンサート、郷土芸能披露を企画し、多様性のある芸術祭を提供した。動員数は(12/5・866 人)。  
令和 3 年度もすべての事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底したうえで、事業を行った。

#### 【課題】

①コロナ前のように学校周辺の地域の方々にも案内し、芸術鑑賞の機会が設けられないか検討している。

②コロナ禍以降の団員数の減少。

③出品数については、全体としては、わずかに増加しているが、20 代から 50 代の出品数は少なく、出品者層の高年齢化が進んでいる。

④来場者数が横ばいの状態である。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.4 点

## 3. 公民館施設の充実

### 『施設環境の整備』

#### 【成果】

①・②公民館施設・設備については、市内各公民館において、施設の維持保全に必要な修繕等を適宜行うとともに、環境美化に努め、安全で利用しやすい環境を整えた。主なものとしては、始良公民館(つどいの広場及びふれあい室空調機器修繕)、帖佐地区公民館(図書室空調機修繕)、重富地区公民館(浄化槽担体流出修繕、小会議室空調機修繕)、蒲生公民館(ロビー照明器具修繕)などを行った。

#### 【課題】

①・②施設の老朽化が進んでいることや設備備品の更新等が不十分である。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.0 点

#### 4. 公民館事業の充実

『関係機関との協力体制の強化』・『生涯学習講座の充実』・『公民館利用の拡充』

##### 【成果】

①公民館運営審議会については、年2回開催した。

②生涯学習講座については、年間講座：36、短期講座：12、特別講座：1、計49講座を開設し、受講者593名であった。講座開設にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、昨年度比で開設講座数が9増、受講者数が105名増加した。

③公民館施設の利用者数については、年間合計175,680人であった。内訳については、次のとおり。

- ・ 始良公民館： 106,641人
- ・ 山田地区公民館： 2,630人
- ・ 帖佐地区公民館： 11,058人
- ・ 松原地区公民館： 32,553人
- ・ 脇元地区公民館： 5,894人
- ・ 重富地区公民館： 4,178人
- ・ 蒲生公民館： 12,726人

##### 【課題】

①審議会へ意見を求めるテーマの設定。

②若年層（就労世代）の受講者数が少ないことや、講座のマンネリ化がある。

③利用団体の固定化や、コロナ禍による利用者数の減少。

外部評価委員の評価点 平均4.2点

## 〔文化財係〕

### 1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

『文化財の管理・保存・整備』・『文化財の広報・活用・調査』

##### 【成果】

①文化財保存審議会については、年4回の審議会を開催し、新しく「蒲生御飯屋棟札」「漆康永板碑」の2件を指定した。また、始良・伊佐地区文化財保護審議会委員等研修会を蒲生地区で開催した。

②指定史跡について、市シルバー人材センターへの委託、歴史ボランティア

アによる巡回・清掃、職員の定期清掃を組み合わせ、通年的に維持管理を図った。

「蒲生のクス」は国庫補助事業で、南側踏圧防止板新設（Ⅲ期）・土壌改良・南側イチョウの伐採等を実施した。南側踏圧防止板は完成。年3回の定期樹勢診断で樹勢回復を確認している。「宇都窯跡」は排水路改修工事を実施し、周辺環境を整備。

③文化財基本調査として、市内神社の補足調査（2社）と追加調査（20社）、所有文化財調査（2件）を実施した。

④「始良市誌史料十」を編集・刊行し、市誌史料集刊行事業は完了した。

⑤文化財案内・解説を充実させるため、国史跡（白銀坂、宮田ヶ岡瓦窯跡、紹隆寺墓地等）の解説板を修繕した。また、加治木ロータリークラブの協力により、加治木地区20箇所の解説板を修繕した。

⑥市報で「あいらひすと一便」として毎月郷土芸能を紹介した。また、文化財パンフレットは「蒲生のクス」を新規作成、その他は適宜増刷し、周知広報に努めた。

⑦郷土学習を充実させるため、歴史民俗資料館で「ふるさと歴史講座」（参加者延べ346人）を開設した。史跡めぐりは、5月「歩き・み・ふれる歴史の道・小山田地区をめぐる」（参加者27人）、11月「越前島津家墓所と関連史跡を訪ねる」（参加者24人）を開催した。また、松原なぎさ小の総合的な学習や蒲生中3年生の郷土学習（史跡めぐり）の支援を行った。

#### 【課題】

①新指定文化財候補の継続的な調査・検討

②県内最多の文化財の維持管理については、引き続き効率的な方法を検討すると同時に、予算的な上積みが必要。「蒲生のクス」は、令和4年度以降クスの東・北側の土壌改良を実施予定。「宇都窯跡」は、周辺住民と協力して維持管理する必要がある。

③神社管理者・関係者の了解のもと、資料調査を進める必要がある。

④資料館展示や古文書講座等での市誌史料の活用

⑤解説板・標柱の計画的更新

⑥文化財情報のデジタル化及び情報発信

⑦学校教育・社会教育における文化財活用の促進

**外部評価委員の評価点 平均4.4点**

## 2. 埋蔵文化財の保存・活用

『埋蔵文化財の保護と開発事業との調整』

### 【成果】

埋蔵文化財の保存・活用については、①令和元・2年度に発掘調査した前田遺跡の出土品整理作業を実施した。縄文時代中期（約4500年前）の編みかご17点のうち、9点の保存処理を行った。

②各種開発行為に伴う確認調査18件（前年度比+10件）を実施した。

③「国史跡 宮田ヶ岡瓦窯跡」の確認調査（保存目的）出土遺物の整理作業を実施した。

④周知の埋蔵文化財包蔵地照会312件（前年度比+28件）に対応した。

### 【課題】

①編みかごの早期保存処理

②・④活発な民間開発に伴う確認調査へ対応

③調査成果の公表（市内遺跡発掘調査報告書の作成）

**外部評価委員の評価点 平均4.6点**

## 3. 郷土芸能の保存・育成

『郷土芸能の振興』

### 【成果】

郷土芸能の振興については、①加治木太鼓踊大会（8/16）、蒲生太鼓踊り公開（8/21）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2年連続中止となったが、木田太鼓踊り保存会が少人数で春日神社への踊りを奉納した。

②その他の郷土芸能公開事業の大部分が中止または縮小となった。市文化芸術祭で春花太鼓踊り保存会が披露した。

③郷土芸能保存会17団体に対し、後継者育成と保存会活動支援を目的に補助金を交付した。コロナ禍により練習や公開ができない保存会については、事業内容の衣装や用具等の購入への変更を許可し、今後の活動に備えた。

### 【課題】

①～③コロナ禍における郷土芸能の保存・伝承

**外部評価委員の評価点 平均4.0点**

#### 4. 施設の充実

『歴史民俗資料館・加治木郷土館・吉原事務所の運営』

##### 【成果】

各資料館の年間入館者は〔歴民館〕1,865人・〔郷土館〕1,103人であった。

①年2回運営協議会を開催し、両館の展示・収蔵状況等について協議し、現地視察を行った。特に学校教育における資料館の活用について、多くの提言をいただいた。

②両館とも特別展資料を常設展に追加し充実を図った。

##### ○特別展

〔歴民館〕「暮らしの中の民具たち」（入館者362人）

〔郷土館〕「鋳物師森山家～明治維新を支えた技術」（入館者326人）

③小学校3・4年生の「まち探検」や「昔の道具調べ」等に対応した。

〔歴民館〕小学校11校664人

〔郷土館〕幼稚園・小学校3校146人

④始良歴史ボランティア協会の活動をサポートし、各種団体の史跡めぐりのガイドを行った。

⑤歴史民俗資料館では、ふるさと歴史講座、古典講読会、古文書研究会（入門）、『本藩人物誌』を読む、古文書講読会（中級）、古文書研究会（上級）を開講した。夏休みの体験学習会は、ムーミン講座と共催で「まが玉づくり」（参加者135人）を実施した。

⑥吉原事務所では、確認調査及び前田遺跡発掘調査出土遺物の整理作業を実施し、資料見学希望者には適宜対応した。

##### 【課題】

①運営協議会での協議結果の館運営への反映

②特別展資料の内容充実

③学校教育での資料館利用の促進

④始良歴史ボランティア協会のサポート

⑤講座内容の充実と新規講座生の獲得

⑥収蔵スペースの拡充

**外部評価委員の評価点 平均4.0点**

## 4 図書館事務局の成果と課題

### 1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

『図書館サービス業務の充実』

【成果】

①図書館利用の促進については、各図書館(室)の利用状況、行事の参加人数は、以下のとおりであった。8月20日から9月12日のまん延防止等重点措置適用期間中においては、貸出・返却のみの対応としながら、感染機会の削減とおうち時間の充実のための対応として、貸出冊数の増冊、期間の延長を行った。昨年に引き続き、イベントの参加人数や研修室・閲覧室の利用制限等を設けながらの運営となった。

〈入館者数〉 計 180,625 人  
中央図書館： 151,181 人  
加治木図書館： 25,486 人  
蒲生公民館図書室： 3,958 人

〈貸出人数〉 計 87,150 人  
中央図書館： 70,450 人  
加治木図書館： 13,642 人  
蒲生公民館図書室： 3,058 人

〈貸出冊数〉 計 379,562 冊  
中央図書館： 301,460 冊  
加治木図書館： 64,606 冊  
蒲生公民館図書室： 13,496 冊

〈行事の参加人数〉  
ふれあい講座： 3講座 62人  
図書館講演会： 43人  
図書館フェスティバル(入館者1,451人貸出335人/1,339冊)  
読み聞かせ講座： 22人  
夏休み図書館講座： 3講座 96人  
冬休みお話し会： 45人

②図書館資料の充実については、新刊案内資料や、選書カタログ、新聞情報等を利用し、社会情勢やリクエストや予約などから利用者のニーズを把握し、幅広い資料収集に努めた。図書資料、視聴覚資料、雑誌の購入数は、全館で5,521点で、蔵書数は、全館で250,705冊となった。

③民間活力の導入等については、今年度のスポンサーは6社12誌。商工会を通じて会員へ募集チラシを配布し、次年度につなげた。かごしま連携中枢都市圏による広域利用者数は、1,689人、貸出冊数は6,851冊、返却は291冊であった。広域利用については、館内掲示を行い、新規利用登録者には必ず周知した。鹿児島市立図書館借用分の始良市への返却が増えている。

④心地よい居場所としての図書館づくりについては、映画会は、感染症対策徹底し行い、まん延防止等重点措置期間中は中止とした。ふれあいプラザについては、設営、撤去に職員も立ち合い、安全な利用と今後の活用につながるよう協力体制をとることができた。

親子映画会 110回、979人、水曜名画座 83回、1,015人  
ふれあいプラザ・・12回／年、延べ125日の利用

#### 【課題】

- ①コロナ禍における行事のあり方
- ②視聴覚資料の古いものが多い。更新に向けた資料選定等が課題。
- ③他館への返却における郵送料の負担や、雑誌スポンサーにおいては雑誌の廃刊や価格変動に伴う対応が課題である。
- ④上映用視聴覚資料の計画的な購入や、映画会、ふれあいプラザ利用の広報のあり方

### 外部評価委員の評価点 平均4.8点

#### 『読書活動の充実』

##### 【成果】

①家庭・地域・学校等における読書活動の推進については、子ども読書活動推進事業「ものがたりレシピをいただきます」においては、希望校8校(対象947名)に読み聞かせに出向き、事業の推進に努めた。新たな取組として読書ビンゴや、本の感想や紹介等ができるリーフレットを全児童・生徒に配布し、多くの子どもたちが楽しみながら取り組む様子が見られた。

また、中学校での「絆」や「自分らしさ」等テーマをもった読み聞かせや、社会教育課のゆずり葉学級での読み聞かせなど、あらためて、読み聞かせの可能性や図書館の役割を感じる機会となった。

ブックスタート事業は今年度も配本による対応となったが、利用案内や利用申込書を同封し、加治木、蒲生分については図書館での受け取りとしたことで、図書館へ足を運ぶ機会となり、読書推進につながっている。おはなし会へ来られる方も多くみられた。

移動図書館車の立ち寄り先の拡充として、学校での一般利用や夏休み期

間中の児童クラブへの運行を行った。

②図書館ボランティアの育成・支援については、感染症対策に努めながら定期的な活動を行って下さった。

- ・装丁ボランティア(はなみずき 11名) 7回/年
- ・読み聞かせボランティア(あいあい 22名) 19回/年
- ・朗読ボランティア(なでしこ 6名) 12回/年

#### 【課題】

- ①各行事における学校連携や移動図書館の日程調整
- ②ボランティアの高齢化や減少、コロナ禍におけるボランティア活動

### 外部評価委員の評価点 平均 4.6 点

#### 『視聴覚ライブラリーの充実』

##### 【成果】

①視聴覚ライブラリーの利用促進については、年度初めの校長会・教頭会等で、ライブラリーの案内や利用方法の周知を図り、広報に努めた。

②県視聴覚ライブラリー等との連携強化については、県視聴覚ライブラリーから毎月 20 本の教材を借用し、家庭教育等の利用に応じられるようにした。また上映権付の教材を借用し、映画会で活用した。

##### 【課題】

- ①今後時代に即応した機材の更新が必要である。
- ②学校や自治会等の求める資料についての事前把握

### 外部評価委員の評価点 平均 3.0 点

## 2. 始良市立図書館ネットワークの充実

##### 【成果】

①ウェブサービス等の利用促進については、新規利用申込者には、ウェブサービス、おサイフケータイについて案内し、ホームページ、広報誌による周知を図った。ウェブサービス新規登録者は 173 人で累計 1,406 人となり、予約件数 10,710 件のうちウェブによる予約件数は 2,934 件であった。おサイフケータイ新規登録者は 12 名で、累計 401 名である。

②図書配送システムの充実については、各図書館(室)間の配送業務を安

定的に行い、各地区公民館図書室とも連絡を密にし、予約・返却資料の配本・回収等迅速に対応した。 地区公民館図書室については、利用案内や、予約・リクエスト説明資料を配布し、職員向けの簡易なマニュアル作成と説明を行った。また定期的な分室巡回以外に年2回200冊程度の配本を行った。

③他市町立図書館とのネットワークの充実については、図書館間貸出(相互貸借)により、利用者の求めに応じ、資料の取り寄せを行いサービスを行った。他館からの借用は747冊、他館への貸出は99冊であった。

#### 【課題】

① ウェブサービス利用手続きの簡素化と利用しやすいシステム改善が課題である。

②地区公民館図書室の充実と図書館間で連携した、利用者に公平で迅速なサービスに向けた取り組みの必要性。 相互貸借は、県外の図書館からの借用等での送料が課題である。

**外部評価委員の評価点 平均4.0点**

## 5 保健体育課の成果と課題

### 1. 生涯スポーツの推進

#### 【成果】

生涯スポーツの推進の①生涯スポーツの充実については、スポーツ・レクリエーション団体、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブ等と連携を図り、市民の体力づくり、健康増進、仲間づくりのために各種スポーツ・レクリエーションイベントを計画し、生涯スポーツの推進及びニュースポーツの普及を図った。

- ・レクリエーション体験会（65人参加）【新規】
- ・生涯スポーツ市民講座（17講座、延べ3,945人参加）

うち校区対抗スポーツ大会

グラウンドゴルフ 32組160名、ペタンク 13組52名

- ・わくわくウォークラリー大会（9組32名参加）

②スポーツイベント等の円滑な運営については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を見極めながら、関係団体と協議し可能な限り実施した。

- ・あいらスポーツフェスタ（延べ1,568名参加）
- ・義弘公奉賛武道大会／剣道（172名参加）
- ・亜細亜大OB現役プロ野球選手による野球教室（233名参加）【新規】

#### 【中止事業】

- ・ニューエルダー元気塾、義弘公奉賛武道大会／弓道、市駅伝競走大会

③指導体制の整備・充実については、スポーツ推進委員の定例会を定期的  
に開催し各種事業を連携し実施した。

#### 【課題】

①新型コロナウイルス感染症拡大期においては、スポーツ活動による感染拡大の防止について、細心の注意を図りながら実施していく必要がある。

②新型コロナウイルス感染症が続く中、市民が気軽に運動をする機会が少なくなっていることから、感染リスクの低い屋外でできるニュースポーツの普及と誰もが参加しやすい運動機会の確保を図る必要がある。

③スポーツ推進委員の地区研修会等が中止になるものが多く、資質向上を図るための取組を実施する必要がある。

**外部評価委員の評価点 平均5.0点**

## 2. 競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進

### 【成果】

競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進の①スポーツ団体等の育成・充実については、市スポーツ協会等への補助金や全国大会等出場奨励金を交付し、組織力の強化、競技力の向上、スポーツ少年団の育成を図った。

- ・全国大会等出場奨励金 支給実績（延べ 286 人、1,999 千円）

②スポーツ施設設備の整備・促進については、総合運動公園多目的広場（8800 m<sup>2</sup>）、駐車場 167 台が整備され、総合運動公園のリニューアルが完了した。【新規】

なお、社会体育施設の管理運営状況については、施設利用者数は令和 2 年度より増えたものの、2 回のまん延防止等重点措置等の影響により従前の利用者数まで回復していない。

- ・全体育施設年間利用実績 H30（422,009 人）、R1（392,579 人）、R2（321,665 人）、R3（348,531 人）

また、総合運動公園において、野球場のスポーツ合宿の受け入れによる施設の有効活用は図られたものの新型コロナウイルス感染症対策のため市民の観戦機会は得られなかった。

- ・スポーツキャンプ実績 日本経済大学硬式野球部 2/26～3/20 のうち 16 日間 約 100 名、旭川大学硬式野球部 3/15～17 3 日間 38 名、障がい者サッカー日本代表 3/18～21 4 日間 25 名

### 【課題】

①コロナ禍においても、感染症対策をとりながら各競技団体が自主的にスポーツ活動や大会を開催し、組織の充実や競技力の向上が図れるよう支援する必要がある。

②各体育施設においては、指定管理者が民間のノウハウを活用し、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、利便性の向上と利用者数の増加を図る必要がある。

## 外部評価委員の評価点 平均 4.6 点

## 3. 体力・運動能力の向上

### 【成果】

体力・運動能力の向上については、①学校体育の充実では、小・中学校で実施した体力・運動能力調査（新体力テスト）の結果に基づく体力向上策を検討させた。また、各学校に「運動大好き”かごしまっ子”育成推進プラン」を作成させ、体力向上に向けた目標、取組内容を設定させるとともに、年度

末には成果と課題を明確にさせ、次年度への取組の改善を推進した。

市小中学校体育主任研修会の実施により、体育主任の体力向上への意識の高揚や学校間の連携が図られた。(21人)

各小学校では新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら、水泳記録会、陸上記録会に向けた積極的な取組みを行い、コロナ禍の中で実施種目や参加学年を工夫することにより実施することができた。

②教科外体育の充実については、「体力アップ！チャレンジかごしま」へ市内のほぼ全ての小・中学校で取組みを行った。県のベスト10に小学校7クラス、中学校9クラスがランクインし、本市から加治木中学校が学校賞を受賞した。

また、競技力向上のため体育連携推進事業として鹿屋体育大学よりサッカーの講師として塩川監督を招聘し指導者講習及び小中校生に対する実技指導を実施した。

- ・指導者研修会参加者 各団体指導者等 14名
- ・実技指導講習会参加者 小学生47名、中学生34名 計 81名

#### 【課題】

①まん延防止等重点措置の影響により、「始良市体力・気力アップ始良っ子育成研修会」を実施できなかった。今後も、地域の感染状況を注視し、感染症対策を徹底した上での研修会の実施を進めていきたい。

②「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組により、今後は外遊びや運動する機会の充実を図るため、全学校全学級での取組を推進したい。

### 外部評価委員の評価点 平均4.2点

#### 4. 健康教育の充実

##### 【成果】

健康教育の充実の①学校保健の充実については、学校保健安全法に基づき、健康診断や就学時検診を実施し、疾病等に関して指摘があった子どもの保護者へ、就学前に治療を行うよう指導することができた。

市学校保健会事務局（加治木小）により、令和4年度開催予定の第4回始良市学校保健研究大会に向けた準備を進めることができた。

アレルギー疾患を有する児童生徒への対応については、市教委作成の「学校におけるアレルギー疾患対応の手引き」に従った適切な対策を講じることができた。

新型コロナウイルス感染症対策については、学校との連携を密に行うと

ともに、学校における濃厚接触者等への対応マニュアルの作成や国の補助金等を活用した消毒液、空気清浄機等の購入を推進し、感染症対策の充実を図ることができた。

②学校安全の充実については、児童・生徒の登下校等の安全を見守る「始良っ子見守り隊」は市内で 558 名登録され、安全確保の充実に努めることができた。また、スクールガード・リーダー 4 名と通学路安全アドバイザー 1 名を委嘱し、各校区の通学路の安全や学校安全体制の一層の充実を図った。

始良市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携した通学路の安全確保のための協議や各校区ごとの対応シートの作成、八街市の事故を受けた全小学校区を対象とした通学路合同点検、交通安全モデル校の指定等を実施した。

水難事故防止の観点から、児童生徒等の地域での安全の確保を図るため、校区内の危険箇所を点検させ、赤旗を設置させた。

不審者情報の事案発生時には迅速に各学校へ周知して注意喚起を行い、スクールガード・リーダーへも連絡し、パトロール等の協力の要請等をおこなって、児童生徒の安全の確保を図った。

危機管理対応必携～幼児児童生徒の命を守るために～の見直し等を行った。

#### 【課題】

①新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、今後も、地域の感染状況を注視し、各種検診等の運営方法等の工夫に努めたい。

②交通事故や不審者情報の発生に対応するため、今後も継続した児童生徒への指導の充実及び道路環境の整備の推進を図る必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.8 点

## 5. 食育の推進

#### 【成果】

食育の推進の①食に関する指導の充実については、食育推進事業として次の 2 つの事業に取り組んだ。

- ・食育推進校の指定（建昌幼稚園、北山小学校、蒲生中学校）
- ・調理員等スキルアップ研修会（7 月・12 月 2 回実施）

②安全・安心な学校給食の提供では、給食運営委員会の開催（センター：年 3 回）、市統一献立検討会の開催（毎月 1 回）、始良市学校給食衛生管理マニュアルの策定（R3.12）【新規】などに取り組んだ。

「食物アレルギー対応の手引き」に基づいて、全小・中学校で統一した取り組みを行った。また、栄養教諭や調理従事者等による徹底した衛生管理によって、食中毒関連の事案は発生しなかった。

1月に「鹿児島をまるごと味わう学校給食週間」を設け、献立に地域の食材を使用した郷土料理やバイキング、セレクト給食などバラエティー豊かな献立作成に取り組んだ。

学校給食衛生管理基準に基づいた施設・器具・食材等の衛生検査や調理従事員及び物資納入業者の健康管理等の意識高揚に努めた。

③施設の充実については、調理機器の計画的更新を行いながら、設備の修繕にも迅速に対応し、調理作業の効率化を図った。

学校給食衛生管理基準を充たしていない7校の自校方式給食室と加治木学校給食センターを統合した、新たな学校給食施設の整備に係る基本方針(R2.12策定)に基づき、令和4年度から基本計画策定に着手できるよう市長部局と協議した。①学校保健の充実については、学校保健安全法に基づき、健康診断や就学時検診を実施し、疾病等に関して指摘があった子どもの保護者へ、就学前に治療を行うよう指導することができた。

#### 【課題】

①新型コロナウイルス感染症の拡大防止等に伴い、食育講演会が中止になり、食育の実践発表の場がなくなったため学校や家庭への食育の推進を図るための周知方法を工夫する必要がある。

②自校方式給食室の休憩室は狭小で換気も十分とはいえないため、打合せや昼食などのときに密になりやすいことから、時間をずらしたり、ほかの空いている教室等を利用するなど対策が必要である。

③新たな学校給食センターが整備されるまでの間に発生する建物と設備の不具合について、無駄のないように効率よく修繕・機器更新をする必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均4.2点

## 6 国体推進課の成果と課題

### 1. 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の実施

『大会実施に向けた取組』

#### 【成果】

大会実施に向けた取組については、①新型コロナウイルスの影響で各総会・会議が主催側の判断で書面・Web・現地開催という対応により開催され各会議の中で体制の確認と構築が図られた。

②かごしま国体延期に伴い啓発グッズの表記変更や不足が見込まれた物品の補充をすることができた。

三重国体が中止の決定となり開催地視察はできなかったが、教育部各課の行事、イベントにて国体PRを実施することにより多くの市民（参加者）に周知することができた。

#### (1) 実行委員会・各専門委員会

##### ○実行委員会開催実績

- ・市実行委員会 1回（5月）
- ・県実行委員会 2回（5月書面、11月Web）

##### ○競技別連絡会議実績

- ・ゴルフ競技 4回（4月2回、8月、10月）
- ・バスケ競技 1回（8月）

##### ○関係会議実績

- ・障害スポーツ競技 2回（7月、11月）
- ・宿泊輸送業務 1回（10月）

#### (2) 企業協賛

##### ○企業協賛の取組状況（実績）

- ・第一生命(株) 98,736円（マスクケース）
- ・(株)高山産業 200,000円（ランドリーバッグ）

#### (3) 広報紙、ホームページ等での情報発信

##### ○各イベントでの広報活動（PR活動）

- ・カウントダウンボード作製協議（10/14）
- ・あいらスポーツフェスタ 2021（10/10）
- ・市図書館フェスタ（11/3）
- ・九州地区高校軟式野球大会（11/7）
- ・亜細亜大出身プロ野球選手野球教室（12/18）
- ・市家庭教育フェスタ（12/19）
- ・市成人式（1/9）
- ・バスケットボール B3 リーグ戦（2/4-5）

- ・日本経済大学野球部春季キャンプ歓迎セレモニー  
(かごしま国体 600 日前イベント)

#### (4) 市民活動の取組

##### ○花いっぱい運動

- ・資材配付 (市内小・中学校 : 8 月)
- ・資材配付 (市内公共施設・コミュニティ協議会 : 9 月)

#### 【課題】

- ①新規協賛もあり取組の実績はあるが、協賛品について重複類似しないように進める必要がある。
- ②各会場の PR 以外にデジタル広報の強化を検討。
  - ・継続して配付をしている種苗量の調整を常時確認し過不足の防止に注意を払う必要がある。

### 外部評価委員の評価点 平均 4.2 点

#### 『本大会の開催準備』

##### 【成果】

本大会の開催準備については、①本大会に向けて各事業のスケジュール、実施内容などの立案・再検討を行った。

#### (1) リハーサル大会の実施

##### ○バスケットボール

- ・全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会  
(令和 5 年 3 月に実施予定)

##### ○ゴルフ

- ・県民ゴルフ大会  
(令和 5 年 6 月に実施予定)

#### (2) デモンストレーションスポーツの実施

##### ○ペタンク

- ・九州ブロックペタンク大会  
(令和 4 年 10 月に実施予定)

##### ○ダンススポーツ

- ・県民体育大会  
(令和 4 年 9 月実施予定)

#### (3) 宿泊・輸送・交通・駐車場の事前手配

#### (4) 炬火リレーの計画・実施要項の策定

#### (5) 学校観戦・学校応援

#### (6) 会場設営・用具調達・配置計画

- (3)～(6)は延期により未実施  
翌年度への引継事項確認

**【課題】**

- ①令和4年度及び国体実施年度の予算に応じた計画・実施方法の見直しが必要と予想される。

**外部評価委員の評価点 平均4.2点**

**『競技会場の施設整備』**

**【成果】**

- 競技会場の施設整備については、①利用者の安全確保のため予算の範囲以内において始良総合運動公園体育館2階手摺木支持材の補修をした。

**【課題】**

- ①現況で応急処置を要するものは無し。

**外部評価委員の評価点 平均4.0点**

### Ⅲ 教育委員の点検・評価・意見・要望等

#### 教育総務課関係

##### 1. 教育委員会の活性化の推進

- ◆ 会議の3日前までには資料が届いており、事前に十分目を通してから委員会に臨むことが出来た。
- ◆ 定例会や臨時会等においては、事務局より補足資料等も適宜準備されており丁寧な説明のもと時機を逸することなく十分な審議ができた。
- ◆ 新型コロナウイルスまん延防止のため中止を余儀なくされた研修会もあったが、感染予防に努めながら少しずつ研修の機会も増えた令和3年度であり有難かった。
- ◆ 学校訪問は予定通り行われ児童生徒教職員、そして学校の現状を把握することが出来た。学校側の努力の姿を直接見聞できる機会はとても大切でこれからも積極的に参加したい。
- ◆ 定例会、臨時会ともに適切に開催された。3日前までには資料が届いており、事前に目を通すことができた。また、議題についても補足説明資料が配付されるなどして、内容が分かりやすく質問にも丁寧に答えていただいた。
- ◆ 総合教育会議前には勉強会を実施し、市長との協議が深められた。
- ◆ コロナ禍の中、県主催の研修会をはじめ地区主催研修視察、委員会主催の研修会などに参加し、研鑽を積むことができた。
- ◆ 今後も開催される研修会には積極的に参加し資質向上に努めたい。
- ◆ 学校訪問では、それぞれの学校の実情や課題解決に向けた取組について把握することができた。また、1人1台タブレットを活用した学習・授業の様子や、特別な支援を必要とする児童生徒が増えている状況を実感することができた。今後も積極的に参加したい。
- ◆ 資料が早めに届けられ、事前に十分目を通し検討することができた。
- ◆ 始良市教育大綱の策定に当たっては、市長と共通理解を図ることができた。
- ◆ 第2次始良市教育振興基本計画を策定し、今後5年間の指針を示すことができた。
- ◆ どの学校も、特色を生かした教育活動を行い、成果を出している。

##### 2. 適正な人事管理業の推進

##### <職員の資質向上と健康管理の保持>

- ◆ コロナ禍ではあるが、職員の資質向上のために感染防止対策を講じつつ各

種研修会が開催されたことを評価したい。

- ◆ 健康診断や人間ドック・ストレスチェック等、健康管理面は適切に実施されている。
- ◆ コロナ禍においても開催された研修に参加し、職員の資質向上させることができている。
- ◆ 健康診断や人間ドック等、健康管理面が適正に行われている。
- ◆ 健康診断、新型コロナウイルス対策などは、適切に行われている。

### 3. 適正な財務事務の推進

#### <財務事務の効率的な運営・適正な予算の編成及び執行>

- ◆ 学校事務職員の研修が計画的に行われ、更に意見交換の時間を持つ中で共通理解が図られたことはとてもよい。適正な予算執行につながっている。
- ◆ 事務職員研修会が計画的に実施されていた。適正な予算執行がなされている。
- ◆ 監査で指摘事項がなかったことは、不断の努力が評価できる。

### 4. 良好な教育環境整備の推進

#### <安全・安心な学校づくりと教育施設整備・教育環境整備状況>

- ◆ 厳しい財政の中ではあるが、適切に改修等の整備事業が行われている。
- ◆ 細かな調査により『始良市学校施設等長寿命化計画』が作成されている。子どもたちのため、適切な学びの環境整備を今後も行っていきたい。
- ◆ 各施設の老朽化に伴う多くの整備事業やコロナ対策等について計画的に進められている。
- ◆ 建物の老朽化等により様々な課題がある中、計画的に整備を行っている。
- ◆ 長寿命化計画の中味をもっと知りたい。具体的にその学校をいつまでにか。

## 学校教育課関係

### 1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

#### <道徳教育の充実>

- ◆ 子ども達の健やかな成長の基盤となる道徳教育の各種事業に、学校・家庭・地域の三者が協働して取り組むことが出来たことを高く評価したい。
- ◆ モラリティ・インプルーブメント推進事業は、今後も続けてほしい取組である。
- ◆ 「ことばのいずみコンクール」では、児童生徒の意欲的な発表がなされている。今後も継続してほしい。
- ◆ 道徳性を育てることは重要なことであり、どの学校でも重点項目の一つに挙げている。もっと大人にもひろげていくことも大切である。

#### <生徒指導の充実>

- ◆ 日々の生活に生きづらさを感じている人々は年々増加の傾向にある。その中でSCやSSWの存在意義は大きいと感じる。悩みを抱える方々に寄り添いそして他機関へつなぐ取組を高く評価する。適応指導教室の開室も有難い。
- ◆ それぞれの事業で効果をあげている。適応指導教室の効果も現れている。今後もあいびあとの連携による総合的な支援をより一層深めていただきたい。
- ◆ 不登校は本市においても大きな課題であり、4つの事業を中心に努力している。これからも継続して取り組んでいく必要がある。

#### <人権教育及び体験活動や読書活動の充実>

- ◆ コロナ禍ではあるが感染予防対策を講じつつ、人権教育の研修や宿泊学習、小・中合同音楽会を実施できたことは良かった。
- ◆ コロナ禍において感染症対策を十分に配慮し、宿泊学習や市小・中合同音楽会を実施されたことはとてもありがたい。今後も継続してほしい。
- ◆ これからの事業を通じて人権意識が高まり、豊かな情操が育まれていくものとする。

#### <幼児教育の充実>

- ◆ 幼稚園長研修会、幼・保・小連絡会など、各研修会が予定通り実施できている。縦横の連携を大切にし、より良い保育の実践と円滑な小学校への接続を期待している。
- ◆ 始良市幼・保・小連携研修会を更に充実し、小学校への接続が円滑に進められることを期待している。

- ◆ 幼・小と小学校の接続が円滑にできるよう、研修会や学習会がとても重要である。

## 2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

### <「確かな学力」の定着>

- ◆ 各学校においてそれぞれ課題となる所を重点化し、研究・実践することによって確実に学力向上に繋がっている。新たな課題も見えるが一步一步着実に前に進んでいただきたい。
- ◆ 「自立へ向けて」の学校生活のきまりをまとめた用紙配布はとても良い取組であると思う。
- ◆ 各中学校ブロックごとの小中連携による様々な取組が学力向上に反映されている。
- ◆ ICT を活用した授業づくりについて各学校の格差が出ないように取り組んでほしい。
- ◆ 学力については、一定の成果が現れている。学力向上アクションプラン等による小・中連携に再度力を入れる必要がある。

### <理数・外国語教育の充実>

- ◆ 様々な研修会や授業研究が行われ、理数・外国語教育の充実が図られている。
- ◆ コロナ禍において、サイエンスリーダー養成講座等の募集や開催については苦慮されたことと思うが、実施出来たことによって子ども達の大きな成長につながったと思われる。
- ◆ 理数、外国語教育充実のために様々な事業が行われている。コロナ禍の中、児童生徒だけでなく教職員も理数、外国語について研修を深めることができている。大いに評価できる。
- ◆ サイエンスリーダー講座やサイエンスあいらんどが、コロナ禍の中実施されたことはとても評価できる。
- ◆ 小学校では、ゲームなどを取り入れた楽しそうな外国語、準備が周到になされた専科による理科、少人数での算数など、様々な取組が見られる。
- ◆ 理数・外国語教育について児童生徒や教職員も多様な学びの場が提供されていてとても充実している。今後も大いに期待する。

### <特別支援教育や情報教育の充実の推進>

- ◆ 特別な支援が必要な子どもは今後ますます増加の傾向にあり、その支援の中身、形も多種多様である。そのための各種研修会や各機関との連携もしっ

かりと行われている。課題にも取り組みつつ、今後も縦横の連携を密に取りながらより良い支援をお願いしたい。

- ◆ 特別支援教育支援員を対象とした研修会で、具体的支援方法について研修できたことで支援の質の向上につながったことは大いに評価できる。今後も続けてほしい。
- ◆ 特別な支援が必要な子どもが増えており、対策もなされている。今後は通常学級に在籍する子どもとの交流や理解を深めるための学習が大切である。
- ◆ GIGA スクール元年であり、小学校低学年でもタブレットを使用していた。利用方法は無限にあると感じた。

### ＜進路指導・キャリア教育の充実＞

- ◆ キャリア教育に賛同してくださる事業所が30も増えたことは有難い限りである。コロナ禍で職場体験学習もままならない現状ではあるが、代替としての職業講話が実施されるなど、将来に向けての子ども達の学びの場がしっかりと提供されている。
- ◆ コロナ禍の中、昨年以上の事業所のご協力に感謝したい。
- ◆ 職場体験学習の代替として職業講話などが実施されたことは大変意義がある。
- ◆ コロナ禍のため、職場体験学習が実施できない中学校もあったが協力してくださる事業所が増加したことには感謝したい。

## 3. 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり

### ＜体験活動や郷土教育の充実＞

- ◆ 各学校において特色ある郷土教育が積極的に行われている。自分の住む町への郷土愛や素晴らしい郷土の一員である、という自負心へとつながって欲しい。
- ◆ 学校ごとに特色ある教育活動がなされている。郷土の良さや社会貢献について更に充実させる取組をしてほしい。
- ◆ ふるさとの素材を生かし、ふるさとに学ぶ活動を通して、ふるさとを愛し、そこから全国や世界に羽ばたく人材が育つことを願っている。

### ＜魅力ある学校づくりの推進＞

- ◆ 魅力ある学校づくりのために各校、特色あるランドデザインが見やすい形で作成されており、それに基づきながら学校経営がなされている。
- ◆ 各学校の特色が具体的で職員や地域の方にも分かりやすい。
- ◆ ランドデザインには、校長の理念や個性が見え、よく考えられている。到

達度が更に上がることを期待している。

### ＜学校運営の充実及び教職員の資質向上＞

- ◆ 管理職や教職員の資質向上のための研修会等が計画的に実施されている。毎年为学校訪問も現状を把握し、適切な指導・助言がなされている。
- ◆ 学校訪問では園や学校の特徴や課題が分かり、課題解決策についても話し合われている。
- ◆ 学校訪問では、職員や子ども達が授業に取り組む態度や休み時間の様子から年々学校の雰囲気やモチベーションが上がっていると感じる。

### ＜小規模校・複式教育の充実＞

- ◆ 小規模校のよさ・らしさを生かした教育活動を行っている。小規模校・複式学習指導法研修会が充実した形で行われている。
- ◆ 小規模校の魅力を機会あるごとに最大限アピールし、特認校を希望する園児・児童が増えることを期待する。
- ◆ 小規模校ならではのきめ細やかな対応や特色ある活動などを紹介し、特認校制度について多くの地域や保護者に周知する手立てを講じてほしい。
- ◆ 小規模校のよさ・らしさを生かした教育活動を行っている。

## 社会教育課(社会教育係)関係

### 1. 社会教育の基盤づくり

#### <関係機関との協力体制の強化及び職員の資質向上>

- ◆ 研究テーマに基づき出された委員の意見を家庭教育支援の事業に反映されていることは素晴らしい。
- ◆ コロナ禍の中、開催された研修会やオンライン開催の研修への参加、先進施設視察の実施など資質向上を図り深めている。
- ◆ 社会教育委員の会がいろんなことに反映されている。

#### <社会教育リーダーの育成及び社会教育関係団体との連携強化>

- ◆ 各リーダー研修会に参加があり、それが各々の積極的な活動に還元されているようである。組織加入者が減少している団体もあり、さらに効果的な広報の在り方をお願いしたい。
- ◆ 情報発信の在り方も工夫した対応がなされている。今後も引き続きわかりやすい情報発信をお願いしたい。
- ◆ 社会教育関係団体の役割は、大きいものがあり、今後も維持・発展への支援・指導を続けてほしい。

### 2. 青少年教育の充実

#### <生きる力を備えた青少年の健全育成>

- ◆ コロナ禍の中、プログラムの見直しと感染症対策を行いつつ青少年事業が実施できたことを高く評価する。また、そこからジュニアリーダークラブへの新規加入へとつながったことも喜ばしい。
- ◆ SSVIC+の方々の動きは学校と地域をつなぐ架け橋にもなっている。子ども達のため今後もよろしく申し上げます。
- ◆ コロナ禍においての研修はご苦労があったことと思う。どの事業も工夫され実施できたことは評価できる。今後も青少年育成活動に力を入れていただきたい。
- ◆ コロナ禍のため、計画を変更しながらも諸事業を実施できてよかった。

### 3. 家庭教育・成人教育の充実

#### <家庭教育の充実>

- ◆ 始良市の子育て手帳は実情に即して改訂も行い素晴らしい指南書である。ぜひ多くの保護者に使って頂きたい。
- ◆ 家庭教育の支援も各種行われており活発な動きが伺える。
- ◆ 家庭教育の推進についても様々な具体策が実行され、さらに充実したものになっている。大いに評価できる。
- ◆ 子育てサロンの実施拡大について、大いに取り組んで欲しい。
- ◆ 始良市では家庭教育に力を入れているが、今後も継続していただきたい。

#### <女性教育・高齢者教育の充実>・<人権教育の推進>

- ◆ 女性学級・高齢者学級ともほぼ計画通り実施できたことは喜ばしい。参加者のうれしい声を多くの方々へ届けて新規入級者増につなげて頂きたい。
- ◆ 子育てが終わった50～60代の中間期の方も対象にした学級があってもよいと思う。
- ◆ コロナ禍にあってもほぼ計画通りに実施することができたことをうれしく思う。これからも参加しやすい学級づくりをお願いしたい。
- ◆ 各学級の学習内容や経営は工夫されている。新規入級者を増やすことが課題である。

### 4. 社会教育施設の充実と利用促進

- ◆ 年間利用者数の減少に歯止めをかけたい。昨年より利用者増の施設もあり、広報や内容検討によりまだまだ増加は期待できる。しかし施設の老朽化対策は施設利用者の安全のためにも急務である。適切な対策をお願いしたい。
- ◆ コロナ禍の中、市内からの利用者が増えたことは喜ばしいことである。どの施設も工夫し、利用者増加に取り組んでいる。今後も利用者への周知をお願いしたい。
- ◆ 利用者数が減少する中、蒲生ふるさと交流館の人数は増加している。本年度は、その他の施設でも昨年より増加してほしい。

## 社会教育課(生涯学習係)関係

### 1. 生涯学習の推進

- ◆ 生涯学習フェア中止は残念だったが、次年度に期待したい。生涯学習講座も多数提供され、登録講師も増えている。
- ◆ コロナ禍により生涯学習フェアを実施できなかったことは残念だったが、今後さらに充実した生涯学習の推進をお願いしたい。

### 2. 芸術文化活動の振興

- ◆ コロナ禍の事業実施においては細心の注意を払いつつ、これだけの事業が行えたことは高く評価する。始良 10 号美術展も 20 回の節目に鹿児島市で特別展を開催できたことは、始良市の PR とともに新たな層の出品者増につながると良い。
- ◆ コロナ禍の中、計画どおり実施されたことはよかった。今後も子どもたちが芸術に触れる機会を続けてほしい。
- ◆ 市立少年少女合唱団の活動についても工夫し、活動を発表する場がありよかった。今後は、団員確保をお願いしたい。
- ◆ 本物の芸術に間近に触れられることができることは、素晴らしい体験となる。これからも続けてほしい。

### 3. 公民館施設の充実

- ◆ 避難所にも使われる公民館である。安全に使用できるよう施設の維持管理に努めていただきたい。
- ◆ 今後も維持管理について計画的に行い、整備をお願いしたい。
- ◆ 今後も必要に応じて計画的に整備してもらいたい。

### 4. 公民館事業の充実

- ◆ 昨年よりも講座数、利用者数ともに増加している。その中で、毎年の課題である「講座のマンネリ化」への対処を期待したい。
- ◆ 生涯学習講座は昨年より講座数・受講者数、公民館施設利用者数ともに増加している。アンケートを踏まえての講座開設など今後も市民の目線で公民館運営をお願いしたい。
- ◆ 公民館利用者数は、昨年から約 25,000 人増えている。コロナ禍で制限がある中、公民館の利用価値が高いと感じられる。

## 社会教育課(文化財係)関係

### 1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

- ◆ 文化財審議会が定期的で開催され、その中で新候補の調査や指定に向けての検討そして、文化財の保存・活用がしっかりと行われている。
- ◆ 市の文化財の維持管理等が適切に行われている。
- ◆ 文化財に関する情報発信に取組めたことは評価できる。
- ◆ 学校教育との連携を深めて、児童生徒が文化財に触れる機会を多く作ってほしい。
- ◆ 始良市誌史料十が刊行され、これで事業が終了した。これまでの大変なご努力に感謝します。

### 2. 埋蔵文化財の保存・活用

- ◆ 埋蔵文化財の出土品の整理と保存に時間を要すると思うが、後世に伝えるべき大きな財産である。適時適切な保存処理を行っていただきたい。
- ◆ 前田遺跡をはじめ、他の埋蔵文化財保護のため出土品の保存管理など適切に行われている。
- ◆ 前田遺跡での出土資料は学術的価値が大きい。展示の計画など今後に期待したい。

### 3. 郷土芸能の保存・育成

- ◆ 郷土に伝わる伝統芸能の保存・伝承には人が不可欠である。各地区太鼓踊りの公開が2年続けて中止になったことは残念である。安定的な後継者育成のためにも披露の場の確保は大切である。
- ◆ コロナ禍の中、昨年同様に郷土芸能の披露が中止となったことは大変残念である。今後も郷土芸能の保存・伝承活動の支援をお願いしたい。
- ◆ 郷土芸能を伝承している個人・団体が、今後も活動を続けられるよう補助したことは評価できる。

### 4. 施設の充実

- ◆ 3施設とも始良市にとって大切な施設である。今後も特別展の企画や各機関と連携を図りつつ来館者増につなげてほしい。
- ◆ 学校教育や生涯教育とも連携を図り、利用促進の周知をお願いしたい。

- ◆ 夏休みの体験学習会など子どもや保護者に周知してほしい。
- ◆ 各施設には素晴らしい資料が多く設営されている。しかし面積など限られた状態もあるので、特別展や企画展など今後も工夫をお願いしたい。

## 図書館事務局関係

### 1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

#### <図書館サービス業務の充実>

- ◆ コロナ禍ではあるが、徐々に以前の形を取り戻しつつあると感じる。ひとえに関係者の方々の努力の賜物であると感謝している。今後も利用者にとって「行きたい図書館(室)」「魅力ある図書館(室)」を目指して運営していただきたい。
- ◆ コロナ禍の中、感染対策を講じながら行事や運営できたことは評価できる。
- ◆ おうち時間充実のため貸出冊数の増冊や期間の延長など利用者に寄り添ったサービスを行ったことは大いに評価できる。今後もお願いしたい。
- ◆ 昨年度と比べて入館者数や貸出人数、貸出冊数は増えている。外出がままならないコロナ禍だからこそ、市民は読書に向かうのかもしれない。

#### <読書活動の充実>

- ◆ 前年度新型コロナのためにできなかった読書活動が今年度は計画的に行うことができた。中学校から読み聞かせのテーマをいただけただことは図書館に対する信頼と期待の表れであると感じられ大変うれしい。今後の課題にも取り組みつつ図書館の成長に期待したい。
- ◆ 子ども読書活動推進事業では、学校と連携し様々な取組が行われている。今後も続けてほしい。
- ◆ 中学校やゆずりは学級での読み聞かせは、今後も続けてほしい取組である。
- ◆ ブックスタートは、乳幼児を持つ保護者にとってとてもありがたい事業である。今後もさらにサポートしていただきたい。
- ◆ ボランティアの方々の支えが大きな力となっている。感謝したい。
- ◆ 図書館ボランティアの活動はありがたい。

#### <視聴覚ライブラリーの充実>

- ◆ 視聴覚ライブラリーの利用状況が現状低迷していると伺える。課題にもあげられているが、今後の利用促進のための手立てを早急に考える必要がある。
- ◆ これまで以上に利用者のニーズに合った工夫をお願いしたい。
- ◆ 視聴覚ライブラリーが所有する教材は内容がよく、数量的にもとても多い。しかし今の時代にどれだけ利用性・必要性があるのか分かりづらい。

## 2. 始良市立図書館ネットワークの充実

- ◆ ウェブサービスの新規登録者が年々増加の傾向にある。時代に即した対応で利用者増につながっている。
- ◆ ウェブサービスの利用者数が増加している。より便利に利用できるよう改善し、利用促進に努めていただきたい。
- ◆ 図書館間貸出は、取り寄せ・借用共に昨年とほぼ同じ冊数であるが、目的の図書を借りたい熱心な利用者が多いと感じる。

## 保健体育課関係

### 1. 生涯スポーツの推進

- ◆ コロナ禍にあって、実施有無の判断は難しさがあったことと思う。その中でこれだけの事業が出来たことは素晴らしい。初の試みも好評だったとのこと、前向きの姿勢がうれしい。スポーツ推進委員さん方との連携も良好のようである。
- ◆ コロナ禍の中、レクリエーション体験会や始良スポーツフェスタ・現役プロ野球選手による野球教室など、子どもたちへ夢と希望を与えられる事業を実施することができたことを大いに評価する。今後もぜひ続けてほしい。
- ◆ コロナ禍ではあっても多くの配慮や準備の下、様々なスポーツ事業が実施できてよかったと思う。

### 2. 競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進

- ◆ 全国大会等出場の延べ 286 名に奨励金支給があり、スポーツを頑張る方達の大きな支えになる。また、総合運動公園のリニューアルが完了した。今後施設利用者が増加となることに期待したい。
- ◆ 全国大会等出場奨励金支給は選手にとって大きな支援となる。今後も支援をお願いしたい。
- ◆ 総合運動公園多目的広場の駐車場やトイレ等の整備もされ、利用状況もさらによくなると期待している。
- ◆ 総合運動公園の駐車場整備が終了し、国体会場としての体裁が整った。

### 3. 体力・運動能力の向上

- ◆ 新体力テストの結果に基づき各学校ではそれぞれ体力向上のための取り組みを行っている。  
「体力アップ！チャレンジかごしま」にほとんどの学校が参加しておりその結果、県のベスト 10 に入ったクラスが 16、そして学校賞受賞が 1 校あり、体力向上の充実が図られている。
- ◆ 「体力アップ！チャレンジかごしま」へ市内のほぼ全ての小・中学校で取組んでいて、県のベスト 10 に小学校 7 クラス、中学校 9 クラスがランクインし、学校賞を受賞した学校もあることはとても素晴らしい。
- ◆ 部活動では、多くの競技で優秀な成績を収めているが、体力・運動能力調査結果はそこまではない。各学校で工夫して体力向上に取り組んでいるので、その成果に期待したい。

#### 4. 健康教育の充実

- ◆ 学校保健安全法に基づき、健康診断や就学時検診が適切に行われている。新型コロナウイルスについてはまだまだ収束が見えない現状である。引き続き感染症対策をお願いしたい。
- ◆ 「始良っ子見守り隊」は昨年よりさらに登録人数が増え有難いことである。通学路の安全確保については万全を期してほしい。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策において、様々な工夫がなされている。評価できる。
- ◆ 始良っ子見守り隊の方々をはじめたくさんの方々の登下校の見守りに感謝している。また、不審者情報の事案も多いが、学校・行政・スクールガードリーダー・安全アドバイザー・始良っ子見守り隊の連携が適切に行われていて大変ありがたいことである。大いに評価する。
- ◆ 始良っ子見守り隊は、雨天・晴天にかかわらず登校時と下校時によく見かける。ありがたいと思う。

#### 5. 食育の推進

- ◆ 今年度も関係者による徹底した衛生管理によって食中毒関連の事案が発生しなかったことを高く評価する。
- ◆ 食育推進校の指定や調理員等のスキルアップ研修会への参加など、食に関する指導の充実が図られている。
- ◆ 学校給食衛生管理基準を充たしていない施設が関係者の細心の注意と努力により何とか稼働している。新施設の早期着工を望む。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症対策として様々な対策が図られている。大いに評価できる。
- ◆ 給食センターでも自校方式でも食の安全に注意を払い、おいしい味付を工夫している。衛生基準を充たしていない施設については、基本計画により整備されていく予定である。

## 国体推進課関係

### 1. 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の実施

#### <大会実施に向けた取組>

- ◆ かがしま国体、かがしま大会の開催がいよいよ近づき大会実施に向けた取組みがいろいろとなされている。協賛企業の確保や広報活動などこれからさらに歩を進めていただきたい。
- ◆ 引き続き市民への広報活動をお願いしたい。
- ◆ 県内での開催が延期されたことに伴い、新たな計画により、実行委員会や情報発信などが確実に実施されている。
- ◆ 本大会開催に向けて入念な準備が必要となる。見落としが無いよう複数のチェック体制を整えて各取組みを行っていただきたい。
- ◆ 不測の事態にもしっかり対応されていた。今後も効率的な運営をお願いしたい。
- ◆ 計画通り実施され、成功するよう期待する。

#### <競技会場の施設整備>

- ◆ 本大会の安全な開催に向けての準備をお願いします。
- ◆ 本大会に向けて、施設・備品の整備など計画通り実施をお願いしたい。
- ◆ 適切に行われている。

## IV 外部評価委員の点検・評価・意見・要望等

### 教育総務課関係

#### 1. 教育委員会の活性化の推進

- ◆ コロナ禍にあっても全ての幼稚園、小・中学校の学校訪問を実施できたことは大変評価できる。可能な限り、研修会等も実施してほしい。
- ◆ いじめ問題、不登校対策、特別支援教育の現状等については、今後も引き続き研修を深めていただきたい。
- ◆ 第2次始良市教育振興基本計画を策定し、今後の本市の教育振興の目指すべき姿を明確に示すことができたことは素晴らしいことである。
- ◆ 始良市教育大綱が策定され、今後5年間の基本方向が示された。今後、その推進に努めてほしい。
- ◆ 教育委員会における教育委員の方々の活発な意見交換に期待したい。
- ◆ 定例会・臨時会ともに計画的に適切に実施されており議案についてもしっかり協議がなされていると評価できる。
- ◆ 総合教育会議についても会議前に事務局と教育委員が連携を図り、勉強会を実施し協議が深められたことは評価できる。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、感染対策をしながら学校訪問を実施し学校の実情や課題解決に向けて対応していることを評価するとともにこれからも毎年実施して欲しい。
- ◆ 定例会・臨時会ともに、多数の委員が出席し、適切な時期に十分開催されている。
- ◆ 必要な議案が適宜審議され、委員の意見も活発に出され、始良市教育大綱の策定等へも反映されている。
- ◆ 定例会資料の事前配付により審議の活性化が行われ、補足資料等もしっかり準備されているようで事務局との連携がしっかり出来ている。
- ◆ 感染症の拡大状況により中止になった研修があるものの、可能な限り実施されており、委員の研修機会は確保されている。
- ◆ 直接現場を見ることのできる学校訪問が全ての対象校(園)に対して行われ、委員の皆さんが積極的に参加されているようでよかった。

#### 2. 適正な人事管理業務の推進

- ◆ 人材育成のための研修が適切に行われている。

- ◆ 職員の健康保持のための取組及び感染症対策が適切に行われている。
- ◆ 健康診断や人間ドック、新型コロナ対策等が適切になされている。
- ◆ 令和2年度に比べ、様々な研修が実施されたのは良かった。今後も、更なる職員の資質向上に努めてほしい。
- ◆ コロナ禍の大変な中、様子を見ながら対策しつつ研修等企画・調整に努めたことを評価したい。
- ◆ 健康診断・人間ドック等、健康管理について適正に実施されている。
- ◆ 感染症への対策を行いながら必要な研修が確実に行われており、健康診断も適切に実施され職員の資質向上と健康管理ができている。

### 3. 適正な財務事務の推進

- ◆ 研修会の実施、適正な予算執行は大変評価できる。
- ◆ 学校要望を受けて様式変更等の業務改善が行われたことは、学校側としては大変ありがたいことだと思う。今後も現場の声を参考に業務改善に努めていただきたい。
- ◆ 事務職員研修会が計画的に実施されており、適正な予算執行がなされている。高額備品購入に関する年次的更新規準の早急な策定をお願いしたい。
- ◆ 厳しい財政状況の中で、学校や市民のニーズに応えられる予算執行に努めてほしい。
- ◆ 学校事務職員研修会がしっかり計画され、共通理解を図る機会があることは評価できる。
- ◆ 厳しい財政状況の中、できる限り多くの事業を実施してくださっていることに感謝したい。
- ◆ 各種研修の実施で財務事務の効率的な運営が行われるよう努められている。課題についても是非実施していただきたい。

### 4. 良好な教育環境整備の推進

- ◆ 安全・安心な学校づくりのために、施設の維持管理が適切に行われている。
- ◆ 学校 ICT 化整備が積極的に行われ、業務改善が期待できる。
- ◆ 学校施設及び関係施設等の維持管理が適切に行われている。学校の ICT 整備に伴うパソコンの更新、各種ソフトの活用が図られている。
- ◆ 安心・安全な環境整備を進め、迅速かつ的確な教育環境整備に努めてほしい。
- ◆ 教育施設の整備や工事及び修繕、教育環境整備が優先順位と財政を考えながら早急に対応していることは評価できる。

- ◆ 単年度で実施可能な改修だけでなく、長期的な教職員住宅の整備等についても計画的に行われている。今後も焼却炉、未使用倉庫・建物の解体など適宜実施していただきたい。

## 学校教育課関係

### 1. 規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進

#### 道徳教育の充実

- ◆ タブレットを活用した授業実践事例集の作成は高く評価できる。今後ますますタブレットを活用した授業の成果が期待できる。
- ◆ 道徳性の育成には学校・家庭・地域の連携が欠かせない。その点において、モラリティ・インクルーブメント・ミーティングは重要な役割を担っていると思う。
- ◆ 弁論大会等の児童生徒が関わる取組は今後も推進していただきたい。
- ◆ 「タブレットを使った道徳科授業実践事例集を作成し HP に掲載した」ことは、各学校での道徳教育の推進・充実を図る素晴らしい取組である。
- ◆ タブレットを使った道徳科授業実践事例集の作成はとても良い。今後は、その具体的活用事例の情報共有を図ってほしい。
- ◆ モラリティ・インクルーブメント推進事業実践発表会が今年度もコロナ禍の中、三船小で学校・家庭・地域の三者協働により実施できたことにとっても評価できる。
- ◆ ことばのいずみコンクールで小・中・高生による弁論大会は発表する態度も素晴らしく、発表内容に毎度感動させてもらっている。今後もより多くの方に参加してもらえよう啓発し継続をお願いします。
- ◆ 道徳教育の充実を図るための各種取組が、効率的に行われており、豊かな心を持った子どもたちが育ってきていると感じる。

#### 生徒指導の充実

- ◆ いじめや不登校の問題等が増加傾向にある中、SC、SSW のニーズはますます高まってきている。4つの事業の取組は大きな成果を上げていると思う。
- ◆ それぞれの関係機関が密に連携をとって児童生徒とその保護者をよく支援している。今後も更に連携を深めてほしい。
- ◆ 本市における不登校は大きな課題で、今後もきめ細かな対応を継続していただきたい。適応教室に通室していた中3全員が高校入学を果たしたことは素晴らしい。
- ◆ R2年度の外部評価で、適応指導教室の利用状況を教えてほしいと意見を述べたが、そのことについてきちんと明記されていて、とてもありがたい。

- ◆ カウンセリングが必要な児童・生徒が増えている中、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカーの配置やスクーリングサポート・スクランブルカウンセリング等市独自事業を考え、細やかな対応で取り組んでもらえていることにすごく評価したい。
- ◆ 4つの事業で、しっかりと児童生徒だけでなく、保護者や教職員への対応もされているが、不登校状態の解消へと繋げていけるようにしてほしい。

## 人権教育及び体験活動や読書活動の充実

- ◆ 各活動が、感染対策を講じた上で行われ、成果を上げている。
- ◆ 新型コロナ感染予防対策を十分配慮した中での宿泊学習や会場を2分割した小中合同音楽会を開催できたことは素晴らしい。
- ◆ 人権教育は、学校だけでなく、社会教育を含め、市全体で取り組む必要がある。今後も、市全体での人権教育推進を図ってほしい。
- ◆ 人権とは、すべての人が生まれた時から持っている大切な権利ですが、その人権という権利について知らない人が多いのが現状です。児童・生徒・保護者・地域の方、教職員・学校に関わる方々へ人権教育の重要性を広める啓発と研修・講演会等行い、今後も人権教育の推進を継続してもらえたらと思います。
- ◆ コロナ禍の中、感染対策を講じて宿泊学習や市小・中合同音楽会が実施できたことは、児童・生徒にとって良い体験ができ事務局の対応に評価できる。
- ◆ 人権教育については、研修会での指導や学校訪問により、問題点の把握や指導が着実に行われている。
- ◆ コロナ禍の影響をなるべく受けないように、児童生徒の成功体験へと繋がる宿泊学習や音楽会が実施されて事はすばらしい。

## 幼児教育の充実

- ◆ 各研修会が実施され、情報共有及び意見交換がなされている。研修会を機に、更に交流を深め、連携していただきたい。
- ◆ 今後も小学校への接続がスムーズにできるよう研修会等の充実を図っていただきたい。
- ◆ 幼保小連携の諸事業が、計画的に推進できていることは評価したい。今後も、成果と課題を明確にして、充実した幼児教育を推進してほしい。
- ◆ 幼児教育の充実を図るための園長研修や幼・保・小連携研修会、幼稚園教諭研修等を計画実施し、情報交換や共通理解を深める場を持ち指導できていることが評価できる。

- ◆ 幼・保・小連携研修会の充実で、スムーズな小学校への接続を図ると共に、今後公立から私立へ多数の保育所が移行した影響が出ないように注視していただきたい。

## 2. 能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進

### 「確かな学力」の定着

- ◆ 教師・児童生徒・保護者がルールを共通理解し、その結果学力向上につながった成果は大きい。今後も継続していくことを期待する。
- ◆ 研修会で学んだことを学校全体にフィードバックし、組織的に授業改善に取り組むしくみを確立していく必要があると思う。
- ◆ ICT を活用した授業づくりが各学校で着実に進められることを期待する。
- ◆ 各学校で作成した「小中共通学校生活のきまり」は、一目で共通理解ができる素晴らしい取組である。
- ◆ 全国学力・学習状況調査や鹿児島学習定着度調査の結果を見ると、その成果が現れている。もし、学校間格差があるとすれば、その対応を図ってほしい。
- ◆ 各中学校ブロックごとの小中連携で「小中共通学校生活のきまり」という基本的なきまりを作成し共通理解が図られたことはとても評価できる。一方、小中連携研修会で授業改善についての連携が十分に図られなかった課題については今後しっかり改善・指導をお願いしたい。
- ◆ 学力向上への取組が効果的に行われており、良い結果が出ている。今後も継続してほしい。

### 理数・外国語教育の充実

- ◆ これからの社会で生きる児童生徒たちに必要な資質・能力を身に付けさせるために、理数・外国語教育に関して、様々な取組がなされているのは大変評価できる。
- ◆ 支援・協力に係る人員配置は各学校での指導の充実につながっていると思う。
- ◆ 理数・外国語教育充実のための様々な研修会等が行われ、各種学力調査等で成果が現れていることは素晴らしい。
- ◆ 小学校2校への理数定着支援員の配置はとても良い。成果と課題も明確にする必要がある。今後も、継続して配置してほしい。

- ◆ 理数・外国語教育推進事業については計画に沿った取組がなされ理数定着支援員の配置により児童たちへの指導が重点的にできていることはとても評価できる。
- ◆ 各種研修や定着支援員の配置、AEA 派遣により理数・外国語教育の充実が図られており十分評価できる。

## 特別支援教育や情報教育の充実の推進

- ◆ 特別な支援が必要な児童生徒は増加傾向にあるので、支援員の配置や研修会の実施等について重点的に検討してほしい。
- ◆ ICT を活用した授業促進のために、先進校視察等を取り入れていく必要があると思う。
- ◆ 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあるが、その対応として各機関との連携、各種研修会で具体的な支援方法等の研修が行われている。
- ◆ 各学校一人一台端末の整備は、支援を要する子どもたちにとって、非常に有効なアイテムである。是非、全ての学校でその活用が図られるように指導してほしい。
- ◆ 特別な支援を必要とする児童・生徒が増えている中、個別指導計画や研修会、特別支援教育支援員 56 人配置、いろいろな分野の専門的な立場の方や特別支援連携協議会等、各関係機関と連携を図り、一人一人に合った支援のあり方を考えて対応してくださっていることに感謝します。児童・生徒は毎日登校すると思うので支援員が勤務の都合で不在になることのないように対応してもらいたい。
- ◆ 保護者の中には学校に上がる前の就学相談を年長さんよりもう少し早い段階(年中さんくらい)で対応してもらいたいという声がある。家族でしっかりと考える時間を持ちたいとのことでそういう声も検討してもらいたい。支援の中身、形も多種多様である。そのための各種研修会や各機関との連携もしっかりと行われている。課題にも取り組みつつ、今後も縦横の連携を密に取りながらより良い支援をお願いしたい。
- ◆ 特別支援教育は、きめの細かい対応がなされているようでありがたい。今後も研修会等充実させていただきたい。
- ◆ ICT 機器の活用は、授業での使い方もだが、その取扱いの上で生じるリスクの啓発も合わせてお願いしたい。

## 進路指導・キャリア教育の充実

- ◆ キャリア教育に協力してくださる事業所が増えたことは大変有り難いことである。地域と学校が一体となって地域の子どもたちを育てる意識がさらに高まっていくと思われる。
- ◆ コロナ禍にもかかわらず、キャリア教育に賛同していただく事業所が増えたことや、職場体験学習の代替として地域の方や事業所の方による職業講話が実施できたことは素晴らしいことである。
- ◆ 小中学生のキャリア教育に賛同し協力していただける事業所が 30 も増えたことに感謝したい。コロナ禍で事業所の体験の受入れが難しいが代替として職業講話を実施できたことに評価したい。
- ◆ 自立する力をはぐくむ為に職場体験や職場見学は大変重要で、キャリア教育の充実がコロナ禍においてもしっかりとできている。

## 3. 児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり

### 体験活動や郷土教育の充実

- ◆ 子どもたちが地域に飛び出して行う体験活動は、社会貢献の喜びを実感するのに大変良い取組だと思う。
- ◆ 各学校に特色ある郷土教育が推進されている。これらの取組の情報をHPに掲載することで、新たな郷土の素材の発見や更なる発展的な学習につながるのではないかな。
- ◆ 本市における郷土素材の教材化の資料はあるのか知りたい。
- ◆ 地域の特色を生かした体験活動は児童・生徒にとっても刺激あるもので生きていく上でも役立つと思うので継続してほしい。
- ◆ 様々な体験活動により、学校毎に特色ある郷土教育の充実が図られていると思う。

### 魅力ある学校づくりの推進

- ◆ グランドデザインに基づいて魅力ある学校づくりがなされており、校長を中心とした職員全体の一体感が図られ、成果が期待できる。
- ◆ 各学校でグランドデザインが作成されており、それに基づいた学校経営がなされている。
- ◆ 学校評議員会や学校関係者評価委員会が、直接、意見交換できる場になってほしい。

- ◆ グランドデザインに基づく経営方針の作成で各学校において今後も経営の充実がしっかり図られていくことを期待している。
- ◆ グランドデザインに基づく学校経営がしっかりと図られ、学校評議員会や学校関係者評価委員会でしっかりとチェック機能がはたらき、魅力ある学校づくりの推進が大いに出来ている。

## 学校運営の充実及び教職員の資質向上

- ◆ 教職員の資質向上のための取組が適切に行われている。さらに研修会等への参加人数を増やすために内容等の工夫を検討していただきたい。
- ◆ 管理職や教職員の資質向上のための研修会等が計画的に実施されている。指導力向上セミナー等の研修会への中学校教員の参加人数を更に増やす手立てをお願いしたい。
- ◆ 管理職の資質向上は、極めて重要である。研修内容を工夫しながら、更なる資質向上を期待したい。
- ◆ 年間を通して管理職研修会、学校訪問、セミナーや各種研修会をしっかりと計画実施していることに高く評価できる。
- ◆ 管理職研修や学校訪問での状況把握が確実に行われ、教職員の資質向上が着実に図られている。

## 小規模校・複式教育の充実

- ◆ 小規模校の魅力を生かした教育活動が行われていると思う。さらに特色ある活動を充実させ、魅力を発信してほしい。
- ◆ 小規模校・複式学習指導法研修会では、研究授業を通じた授業研究やテーマに沿った協議など充実した研修が行われている。
- ◆ 小規模校の良さを、各学校がアピールして、自校ならではの特色を打ち出してほしい。
- ◆ 特認校制度の魅力を感じ、制度を使って通学している児童がいるが各小規模校で人数の偏りがあることが気になる。特認校制度をもっと多くの方に知ってもらえるよう手だてを考えてほしい。
- ◆ 小規模校のよさを生かした特色のある教育活動が出来ているようである。
- ◆ 蒲生地区の三校交流は子ども達にも好評であり、小規模校の児童が、中学校へ進学する際の助けとなっているようなので他地区でも実施してみてはどうか。

## 社会教育課関係（社会教育係）

### 1. 社会教育の基盤づくり

#### 関係機関との協力体制の強化及び職員の資質向上

- ◆ 社会教育委員の意見が各事業に反映されていることは大変評価できる。今後も継続していただきたい。
- ◆ 社会教育委員の会の意見等が、家庭教育支援事業に活かされている。
- ◆ 社会教育委員の研修会を通して、その資質向上を図り、積極的な意見交換ができる場となってほしい。
- ◆ 社会教育委員の会も計画され、委員からの意見を踏まえ事業に反映されていることに評価できる。
- ◆ コロナ禍で研修会等が減少しているが、オンライン等での対応で情報共有できたことは良かったと思う。
- ◆ 社会教育委員の意見を反映させており、すばらしい。又、施設職員の資質向上にも努められている。

#### 社会教育リーダーの育成及び社会教育関係団体との連携強化

- ◆ コロナ禍であっても活動を継続しており評価できる。さらに広報活動に努めていただきたい。
- ◆ 情報発信として、市報やホームページ、地域防災メール、あいらFM、回覧板等、様々な取り組みがなされている。
- ◆ 始良市の子ども会の現状を知りたい。
- ◆ リーダー研修会や地区子ども指導者研修会等への参加もあり、各団体との連携もしっかり図りコロナ禍でも感染対策講じて積極的に活動できていることへ評価できる。
- ◆ 生活環境の変化により、社会教育関係団体の中には加入者減少の流れがみられるものもあり、そのような団体への支援の在り方については、しっかりと対応して行ってほしい。

### 2. 青少年教育の充実

- ◆ コロナ禍であっても、青少年事業が内容を工夫して行われたことは大変評価できる。
- ◆ ムーミン講座は定員を上回る参加があり成果を上げていると思う。

- ◆ コロナ禍において開催時期や内容を変更し各種青少年事業が実施できたこと、また中でもムーミン講座への児童の参加者数・参加率が高いこと等は素晴らしいことである。
- ◆ コロナ禍の中で、確実に様々な事業が推進されていることは評価したい。具体的数字による成果は、とても分かりやすい。
- ◆ コロナ禍で大変な中、各種青少年育成事業がたくさん申し込みと参加と感染対策を講じて、安心・安全に活動を実施し成果を上げていることに高く評価できる。事業が実施できたことを高く評価する。また、そこからジュニアリーダークラブへの新規加入へとつながったことも喜ばしい。
- ◆ コロナ禍の中においても工夫して様々な青少年事業を実施していただきありがたい。又、その事業を通じてジュニアリーダークラブへの新規加入へ繋がっている事はすばらしい。

### 3. 家庭教育・成人教育の充実

#### 家庭教育の充実

- ◆ 家庭教育を推進するための取組が活発に行われている。
- ◆ 国・県指定の「みんなで支える家庭教育推進事業」のモデル事業として様々な具体策が実行されている。
- ◆ 家庭教育学級で、事例発表の機会を持ったことはとても良い。マンネリ化しがちな家庭教育学級は、常に新しい風を入れることが大切である。
- ◆ 家庭教育支援に関わる事業に工夫が見られ周知も図られているように感じる。
- ◆ 家庭教育学級や子育てサロンの実施により保護者の悩みの解消が図られていることが素晴らしい。今後も継続してほしい。ぜひ多くの保護者に使って頂きたい。
- ◆ 家庭教育の充実の為に様々な取組が効果的に行われており、機会がある度に子育て手帳の活用について広報も行われ、おおいに評価できる。

#### 女性教育・高齢者教育の充実・人権教育の推進

- ◆ 生涯学習の場が充実している。
- ◆ コロナ禍にあっても感染症対策を講じながら女性学級・高齢者学級を計画通りできたことはすばらしい。
- ◆ あやめ学級やゆずり葉学級での生きがいづくりや仲間づくりの場があり、毎年変わらない人数の参加があり年間を通して楽しく活動している姿は素晴らしい。これからもたくさんの方に周知して継続してもらいたい。

- ◆ 感染予防対策をしながら、各学級を計画通りに実施されており、ありがたい。今後、男性学級を創設するなど新しい層へのアプローチもしてほしい。

#### 4. 社会教育施設の充実と利用促進

- ◆ 各施設は大変魅力ある施設だと思う。さらに利用が増えるように広報活動の工夫に努めていただきたい。
- ◆ コロナ禍の影響もあるが、全体として年間利用者数の減少傾向がみられる。更なる広報活動や内容検討等をお願いしたい。
- ◆ 各施設が有効活用されるための新たな取組を期待したい。
- ◆ コロナ禍で各施設の運営に利用者が減ったり増えたりと影響があるが、施設の老朽化も深刻とのことで利用する人たちが安心安全に利用できるように努めてもらいたい。
- ◆ コロナ禍の影響のある事から一概には言えないが、年間利用者数の減少している施設が多いが、どの施設も色々と工夫をし、利用活用に積極的に取り組まれている事がわかる。今後も継続をしてほしい。

### 社会教育課関係（生涯学習係）

#### 1. 生涯学習の推進

- ◆ 生涯学習がさらに推進されることを期待する。
- ◆ 今後も市民の多様なニーズに応じた指導者の発掘・情報提供をお願いしたい。
- ◆ 多くの市民が参加したくなる、魅力ある生涯学習フェアになるように知恵をしぼってほしい。
- ◆ 生涯学習フェアを毎年楽しみにしていた市民がいたと思うが、コロナ感染拡大により中止になったことは残念。次回も様子を見つつ計画実施してもらいたい。
- ◆ 生涯学習講座数、登録講師数共に充実しており、評価できる。

## 2. 芸術文化活動の振興

- ◆ コロナ禍であっても中止することなく実施できたことは高く評価できる。今後も活動の充実を図り、文化意識の高揚を図っていただきたい。
- ◆ コロナ禍において各種事業を計画通り実施できたことは良かった。市立少年少女合唱団の団員確保をお願いしたい。
- ◆ 第20回始良10号美術展の開催は、とても良かった。
- ◆ コロナ禍において芸術鑑賞事業が対策を講じて実施でき、児童生徒たちが鑑賞する機会と発表する機会を得られたことに高く評価する。
- ◆ 感染症対策を行いながら、着実に芸術文化鑑賞機会が提供されており、文化意識の高揚に充分寄与していると思う。

## 3. 公民館施設の充実

- ◆ 今後も公民館施設の維持管理に努めていただきたい。
- ◆ 今後も施設の維持管理を計画的に進めていただきたい。
- ◆ 市内の公民館を利用する市民が多いと思うので施設維持保全に努めてもらいたい。
- ◆ いつも公民館を利用する市民の方が自分で育てた花の鉢植えを公民館の玄関に飾ってほしいと寄付されたという話を聞いて市民の憩いの場なんだとうれしくなった。
- ◆ コロナ禍において講座数や利用者数が増えていることは事業の充実が図られたと評価できる。今後も市民のための公民館づくりを期待している。
- ◆ どの施設も適切に整備されていると感じるが、中長期的な施設整備に今後も取り組んでいただきたい。

## 4. 公民館事業の充実

- ◆ 様々な年代層に利用してもらえるように、生涯学習講座の内容や広報の在り方等について検討していただきたい。
- ◆ 生涯学習講座は、昨年より講座が9、受講者が105名増加したことは素晴らしい。
- ◆ コロナ禍の中で、生涯学習講座の受講者が増えたことは、とても良かった。さらに、講座内容の工夫を図ってほしい。
- ◆ コロナ禍において講座数や利用者数が増えていることは事業の充実が図られたと評価できる。今後も市民のための公民館づくりを期待している。

- ◆ 生涯学習講座の充実により、公民館の利用者が増加しており評価できるが、課題にも上げられている通り、就労世代等も受講者数が増加するような今後の取組に期待したい。

## 社会教育課関係（文化財係）

### 1. 指定文化財登録文化財の保存・活用

- ◆ 学校と連携して、児童生徒が地域の文化財に触れる機会を作ってほしい。
- ◆ 文化財審議会が定期的開催され、市の文化財の活用や維持管理が適切に行われている。
- ◆ 始良市のみならず、国の財産でもある「蒲生のクス」が、保存のための整備ができたことは、とても有難い。引き続き尽力してほしい。
- ◆ 文化財保護審議会が年間通して開催され、調査や検討がしっかりなされている。
- ◆ 文化財の維持管理は、大変適切に行われていると思う。今後も必要な予算の確保、文化財の情報発信に努めていただきたい。

### 2. 埋蔵文化財の保存・活用

- ◆ 埋蔵文化財の保存・活用については、適切に行われている。
- ◆ 活発な民間開発に伴う確認調査が増加している状況下ではあるが、開発業者への各種手続の周知徹底をお願いしたい。
- ◆ 県内初の編みかごの重要性について知りたい。
- ◆ 埋蔵文化財の発掘調査で編みかご等出土品が見つかったことは市の大きな財産なので評価できる。保存管理もしっかり行ってほしい。
- ◆ 埋蔵文化財の保存は適切に行われている。増加する民間開発にも、確実に対応されており評価できる。

### 3. 郷土芸能の保存・育成

- ◆ 郷土芸能が保存・継承されることを願っている。
- ◆ 郷土芸能を継承している個人や団体への補助金の交付は、今後も継続して頂きたい。
- ◆ 郷土芸能に、子どもたちがどの程度関わっているのか知りたい。

- ◆ コロナ感染拡大により太鼓踊りが2年連続中止になったことは残念である。
- ◆ 今後の保存伝承活動に向けて衣装や道具を整備できたことは評価できる。
- ◆ コロナ禍での中止は残念だが、郷土芸能の保存伝承の為に補助を継続していただいていることに感謝したい。

#### 4. 施設の充実

- ◆ 学校と連携して、利用促進に努めていただきたい。
- ◆ 昨年に比べ資料館を活用する学校が増加したことは喜ばしいことである。郷土教育の観点からも更なる各学校への広報活動をお願いしたい。
- ◆ 市内の子どもたちが、計画的に活用していることは、とても良い。
- ◆ ムーミン講座の「まが玉作り」は、とても好評であった。企画によっては、子どもたちの心をひきつけることができる。
- ◆ 資料館を活用する学校が増えていることは素晴らしいことなので、学校教育や生涯学習との連携が更に図られることを願う。
- ◆ 各施設に運営・管理は、適切に行われているが、入館者増加の為に広報活動に力をいれてほしい。

## 図書館事務局関係

### 1. 図書館のサービス業務と読書活動の充実

#### 図書館サービス業務の充実

- ◆ コロナ禍であっても感染対策を講じつつ、工夫をしながら運営できていることは評価できる。
- ◆ 利用者の意見等を聴きながら、さらに工夫改善に努めていただきたい。
- ◆ 昨年度に比べて入館者数、貸出人数、貸出冊数、雑誌スポンサー数が増えていることは、素晴らしいことである。
- ◆ コロナ禍であるが、図書館は市民にとって、非常に存在感のある場所である。個人的によく利用しているが、職員の対応もとても良い。
- ◆ コロナ禍が続く図書館運営においても苦労が多い中、対策を講じながらイベントや本の貸出など利用者に図書館サービスの充実を図って下さったことに評価したい。
- ◆ 感染症対策を行いながら、適切に事業が展開されている。利用が減少している蒲生公民館図書室については、今後の新庁舎(蒲生支所)への移転に期待したい。

#### 読書活動の充実

- ◆ 家庭・地域・学校における読書活動は心豊かな人間性の育成のために大変重要である。早い段階から子どもたちが読書を楽しめるようにさらに新しい取組を模索していただきたい。
- ◆ ボランティアの協力は大変ありがたい。今後も工夫改善しながら継続して取り組んでいただきたい。
- ◆ 子ども読書活動推進事業では、例年実施している読み聞かせのほかに新規の読書ビンゴ、中学校からの読み聞かせのテーマへの対応等、学校と連携した様々な取組みがなされている。
- ◆ 中学校からの読み聞かせの依頼があったとのことであるが、是非、他中学校にも啓発してほしい。
- ◆ 子ども読書活動推進事業は希望校8校へ読み聞かせが実施でき、新たな取組についても児童・生徒が楽しめた様子で活動できたことは大変良いことである。読み聞かせの希望校が増えることを願い継続してほしい。
- ◆ 年間を通しボランティア活動をしてくださる方々に感謝したい。
- ◆ 子ども読書活動推進事業は、子ども達も読み聞かせが好きなようです。今後も充実させて下さい。

## 視聴覚ライブラリーの充実

- ◆ 内容の充実を図っていただきたい。
- ◆ 視聴覚ライブラリーの利用促進に向けた更なる取り組みをお願いしたい。
- ◆ 視聴覚ライブラリーの存在意義を考える必要がある。
- ◆ 課題を解決し、視聴覚ライブラリーの充実に努めて欲しい。
- ◆ 様々なコンテンツがオンラインで利用できるようになった時代に対応した変化が必要だと感じる。

## 2. 始良市立図書館ネットワークの充実

- ◆ 今後さらにウェブサービス利用の促進を図っていただきたい。
- ◆ ウェブサービスの新規登録者が年々増加しており今後の利用促進につながると思う。
- ◆ ウェブサービスの登録者数は、R2年度1,233人、R3年度は1,406人となっている。どのような課題があるのか整理してほしい。
- ◆ 新規利用者が増えてきていることは評価できる。今後も利用者の声を聴きつつ更にサービスの充実を図って欲しい。
- ◆ ウェブサービスの充実は大変よいが、おサイフケイタイについては実際の利用を調べた上で、今後、バーコード決済への切替等検討していただきたい。

# 保健体育課関係

## 1. 生涯スポーツの推進

- ◆ 内容が大変充実している。コロナ禍、実施の判断は難しいが、今後も工夫しながら進めていただき、生涯スポーツの魅力をアピールしていただきたい。
- ◆ コロナ禍にあっても感染対策に細心の注意を払いながら関係団体と連携のもと、始良スポーツフェスタや新規のレクリエーション体験会等を実施できたことは大いに評価できる。
- ◆ 亜細亜大OB現役プロ野球選手による野球教室は、特筆すべきイベントであったと思う。今後も、市民が参加したくなるイベントを企画してほしい。
- ◆ 各種大会やレクリエーション体験会・始良スポーツフェスタなどコロナの状況を見ながら実施できたことは高く評価できる。
- ◆ 民間企業の協力でラグビーやサッカー、駅伝メンバーによる走り方教室、現役プロ野球選手による野球教室など子どもたちに夢や希望を与えることができる体験を企画し実施して下さったことに感謝したいです。
- ◆ 感染症への対策を講じながら、生涯スポーツの推進の為に様々な大会やイベントを実施していただき、今後も継続してほしい。

## 2. 競技スポーツ、スポーツ環境整備の推進

- ◆ 補助金・奨励金の支給はありがたい。今後もさらに充実させてほしい。
- ◆ 総合運動公園がリニューアルし、今後利用が増えることを期待したい。
- ◆ ペタンクが市民に広まっていくことを期待する。
- ◆ 総合運動公園多目的広場の改修が完了しグラウンドゴルフやペタンク等が可能になり、駐車場やトイレも整備されたこと等で利用状況も更によくなると思われる。
- ◆ 総合運動公園の多目的広場は、始良市民だけではなく、市外の方々にも非常に利用されている。競技者だけではなく、幅広い方々に活用される環境整備が大切である。
- ◆ 市スポーツ協会等への補助金や全国大会等出場奨励金支給は選手にとっても親にとってもありがたい支援である。
- ◆ 市の広報誌にスポーツの大会で優勝・準優勝したという報告を目にするとうれしくなります。今後もそういう報告が聞けるよう支援を継続して欲しい。
- ◆ スポーツ団体等への補助金や全国大会等出場奨励金により、育成・充実が図られて評価できる。

- ◆ 指定管理者への評価も高く、うまく連携されている。今後は、リニューアルの完了した総合運動公園の利用促進が期待される。

### 3. 体力・運動能力の向上

- ◆ 「体力アップ！チャレンジかごしま」において大きな成果を上げており、高く評価できる。
- ◆ 各学校では、新体力テストの結果から課題を明確にして、毎時の体育の授業の補強運動等で対応している。各学校での取り組みの様子をお互いに参観する場（研修会等）があると更に取り組みが深まるのではないか。
- ◆ 始良市の子どもたちの体力・運動能力の現状について知りたい。
- ◆ 「体力アップ！チャレンジかごしま」への取組が始良市全体の小・中学校で行われ毎年ベスト 10 にランクインするクラスがあり学校賞を受賞していることに評価できる。
- ◆ 水泳記録会や陸上記録会もコロナ対策を行い、工夫しながら実施できたことは良かった。
- ◆ 学校体育、教科外体育共に、様々な取組で子ども達の体力運動能力の向上が効果的に行われていると感じる。今後も継続してほしい。

### 4. 健康教育の充実

- ◆ 健康診断等、適切に行われている。
- ◆ 子どもたちの登下校の安全確保のために、「始良っ子見守り隊」の存在は大変ありがたい。心より感謝したい。登録者数が増えたことにより、さらに地域で子どもたちを守っていく意識が高まると思う。
- ◆ 学校保健法に基づいた健康診断や就学時検診の実施とその後の対応が適切になされている。
- ◆ 「始良っ子見守り隊」・「スクールガードリーダー」・「通学路安全アドバイザー」の方々との連携等で児童生徒の登下校の安全や学校全体の安全体制の充実が図られている。
- ◆ 新型コロナの再拡大、特に、感染者の低年齢化があることから、引き続き、きめ細かい感染症対策をしてほしい。
- ◆ 学校保健安全法に基づき健康診断や就学時健診が適切に実施されていることに感謝したい。疾病等に関して指摘があった子どもたちが、その後治療を必ず受けたかの報告を把握し継続して見守ってほしい。

- ◆ 始良市は人口も増え交通量も同じく増加していると感じます。子どもたちの登下校も更に心配になりますが、始良っ子見守り隊の方々のおかげで、無事に登下校できていることに感謝したいです。
- ◆ 学校保健の充実は、各種取組により着実に進んでいる。
- ◆ 登下校時の安全確保においては、ボランティアの方々の協力で安全確保が保たれているが、不審者情報は多いと感じるので、今後も子ども達への啓発も含め対応をお願いします。

## 5. 食育の推進

- ◆ 心身ともに健やかな子どもたちの育成に食育は欠かせない。食育推進校の指定やスキルアップ研修会など指導の充実が図られていると思う。
- ◆ 家庭における食育についても推進していただきたい。
- ◆ 学校給食衛生管理基準を満たしていない施設では、調理員をはじめとした関係者の日々の努力により運営されている。新たな学校給食センターの基本計画策定の早期着手をお願いしたい。
- ◆ 「始良市学校給食衛生管理マニュアルの策定」がなされているが、いろいろな機会に内容の周知を図ってほしい。
- ◆ 新型コロナウイルス感染症や猛暑等もあり、調理に関わる従事者の健康管理と衛生面についてしっかりと対応して、給食を提供できていることに高く評価できる。
- ◆ 食育推進校の指定やスキルアップ研修会の実施により、食に関する指導の充実が図られ、関係者の徹底した衛生管理により給食の安全・安心が保たれた事に感謝したい。

## 国体推進課関係

### 1. 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の実施

#### 大会実施に向けた取組

- ◆ 今後大会へ向けて、関係機関との連携を密にして進めていただきたい。
- ◆ 市民への広報活動を行って始良市全体で盛り上げてほしいと思う。
- ◆ かごしま国体（始良開催種目）に向けた各種委員会や市民への広報活動等が適切に行われている。
- ◆ 本大会に向けての事業スケジュール、実施内容などの立案・再検討が適切に行われている。
- ◆ 来年度開催に向けて、積極的な情報発信に努めてほしい。
- ◆ 子どもたちにとっても、最高の思い出に残る国体にしてほしい。そのための企画を是非お願いしたい。
- ◆ 市民の多くが、興味・関心を持って国体を待てるように、先手先手で取組を進めてほしい。
- ◆ 新型コロナウイルスの影響で今だに国体に関わる準備や取組がいろいろ大変かと思いますが、本大会に向け啓発・広報・修正等を行ない実施できるよう努めてもらいたい。
- ◆ 2023年に国体が改めて、開催される事への広報は、着実に浸透していると感じられる。今後も継続して、広報活動に努めていただきたい。
- ◆ リハーサル大会を含め本大会までしっかり準備を進めてもらいたい。
- ◆ 開催延期により、準備期間が大幅に長くなった事を生かして、すばらしい大会となるよう期待しております。

#### 競技会場の施設整備

- ◆ 適切に行われている。
- ◆ 常に安全な施設であるように、アンテナを高くして対応してほしい。
- ◆ 予算の範囲内で適正に補修が行われている。
- ◆ 事前に出来る事を着実に実施していただいている。

## 始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏名	経歴等	備考
1	宇都 尚美	加治木高等学校長	学校教育
2	麓 吉雄	学校評議員(元中学校長)	社会体育
3	和田 幸一郎	元志布志市教育委員会教育長	教育委員会が必要と認める者
4	百武 美津代	元始良市教育委員	社会教育
5	岩戸 博文	市PTA連絡協議会書記会計	PTA連絡協議会

## 始良市教育委員

番号	氏名	役職等	備考
1	川畑 逸郎	教育長職務代理者	
2	中間 博英	教育委員	
3	岩元 真美	教育委員	
4	藤谷 和泉	教育委員	

○始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年3月23日教育委員会規則第5号

始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

(資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

(教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第4条 法第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

(議会報告等)

第5条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

(庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年3月23日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第1号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

附 則（平成30年3月30日教委規則第3号抄）

(施行期日)

1 この規則中は、第1条、第3条及び第4条の規定は公布の日から、第2条の規定は平成30年4月1日から施行する。

(始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則の一部改正に関する経過措置)

4 この規則の施行の際現に在職する教育長の在任特例期間においては、第4条の規定による改正後の始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則第1条の規定は適用せず、第4条の規定による改正前の始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則第1条の規定は、なおその効力を有する。

始良市教育委員会外部評価委員会規程

(設置)

第1条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成22年始良市教育委員会規則第5号）第4条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 評価委員会は、始良市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 評価委員会は、5人以内の評価委員をもって組織する。

2 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する翌年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

(会長)

第5条 評価委員会は、会長1人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

(会議)

第6条 評価委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

(委任)

第8条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附 則

この訓令は、平成22年3月23日から施行する。

附 則（平成24年6月14日教委訓令第11号）

この訓令は、告示の日から施行する。